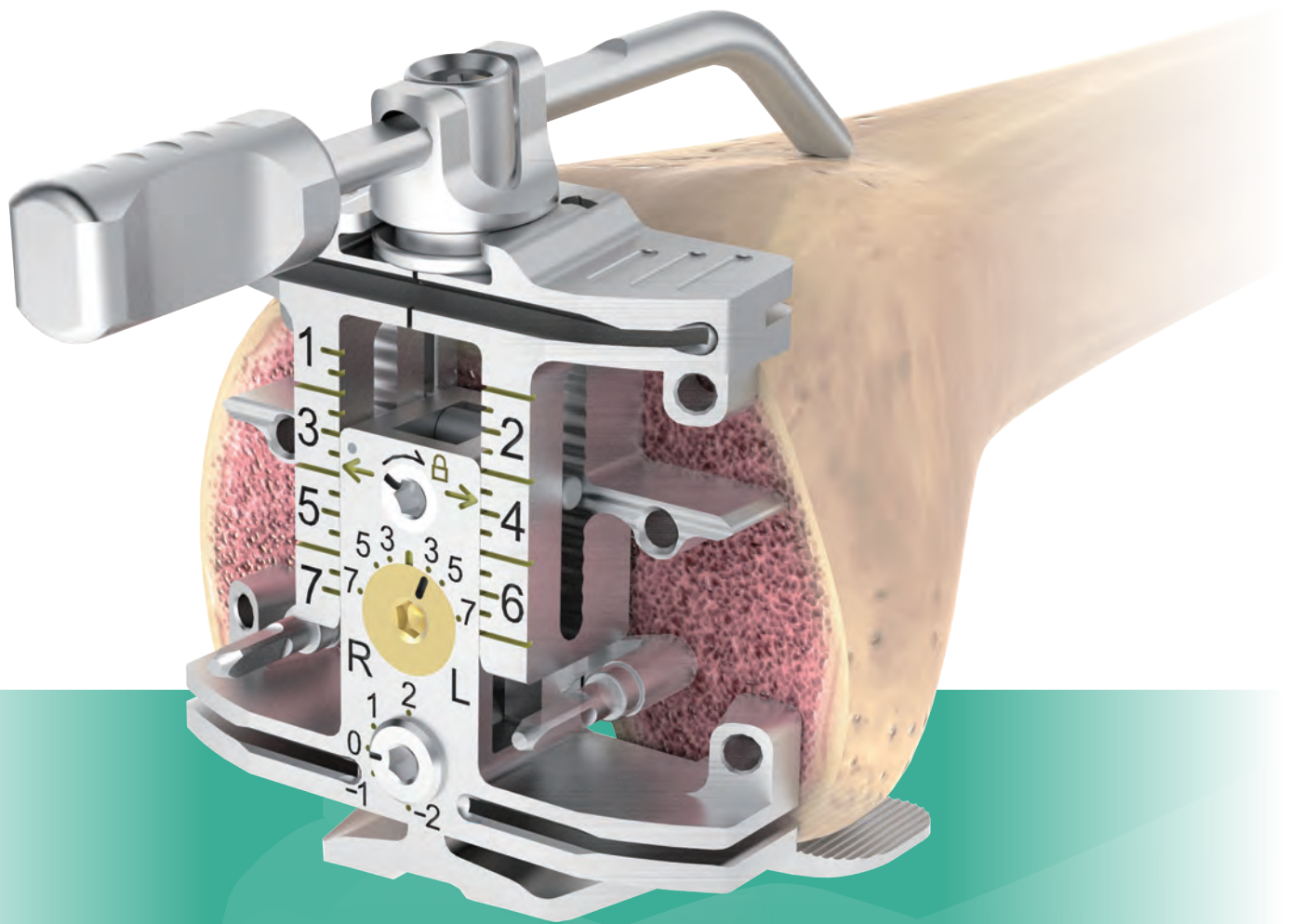




U2 Knee AiO™

All-in-One Cutting Block
Surgical Protocol





Contents

contents	1
手術手技 Overview	2
A.大腿骨遠位の骨切除	4
B.脛骨近位の骨切除	9
C.伸展ギャップ評価	14
D.大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除	16
E.トライアル整復	27
F.CRペグの準備	30
G.PSボックスの準備	31
H.脛骨近位の準備	34
I.オンセットパテラの準備	36
J.インプランテーション	41
付録	
CMAオーギュメントおよびエクステンションシステムの準備	45
オーダーリングインフォメーション	50

Each Step We Care

手術手技 Overview



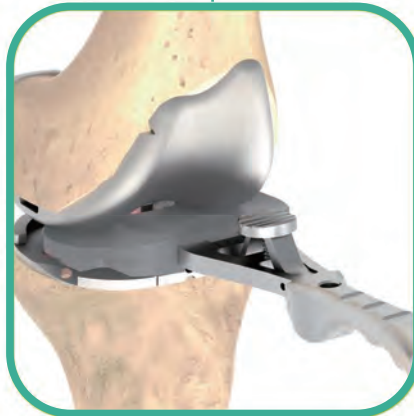
大腿骨遠位のアライメント/骨切除



脛骨近位のアライメント/骨切除



伸展ギャップ評価



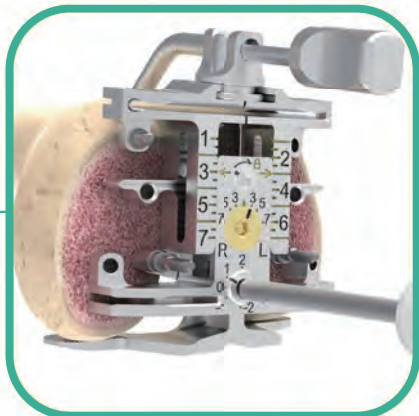
トライアル整復



CRペグの準備



PSボックスの準備



大腿骨のサイジングとA/P骨切除



大腿骨シャンフアー骨切除



脛骨キールの準備



オンセットパテラの準備



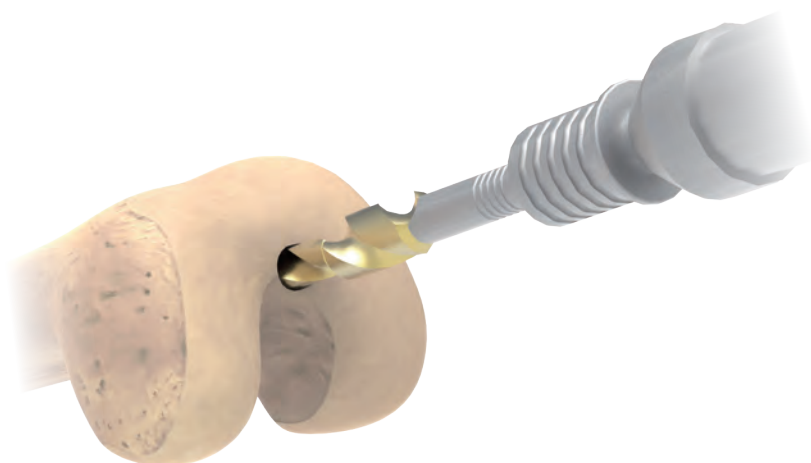
インプランテーション

A. 大腿骨遠位の骨切除

大腿骨髄腔へのアクセス

典型的な大腿骨エントリーホールは、顆間切痕中心よりわずかに内側、かつPCL起始部より約5～7 mm前方に位置します。

ステップドリルを使用して、大腿骨髄腔への開口部を作成します。ドリルは、大腿骨髄腔に向けて約10cmまで近位に挿入します。これにより、**IMロッド**の挿入時に大腿骨髄腔圧を減圧することができます。



大腿骨外反角の設定

大腿骨IMアライメントガイドを使用すると、外反角が11度まで調整できます。理想的な外反角は術前計画に従って決定してください。



器具



ステップドリル
9304-3001



IMロッド
9304-3002

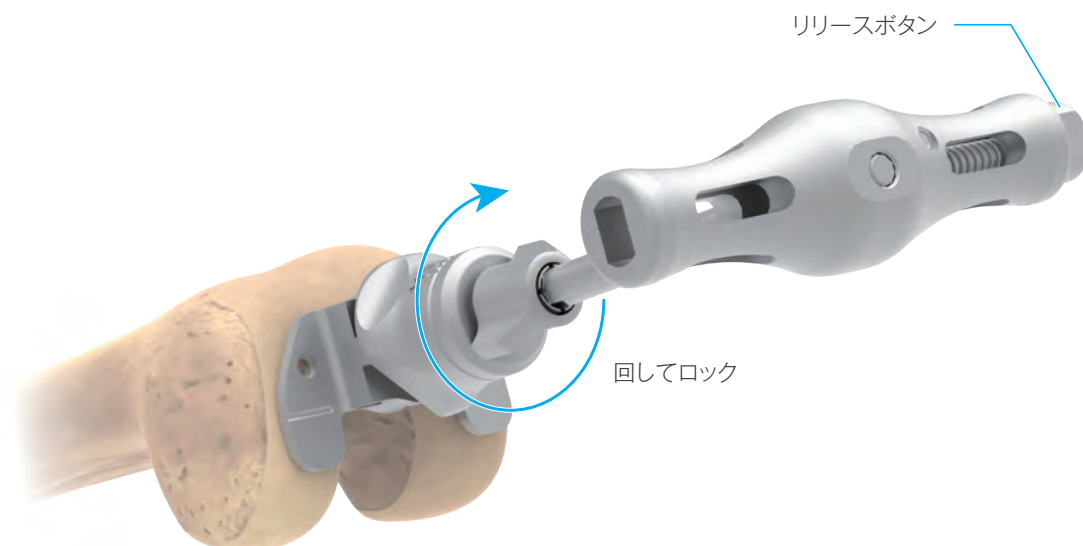


大腿骨IMアライメントガイド
9304-2101

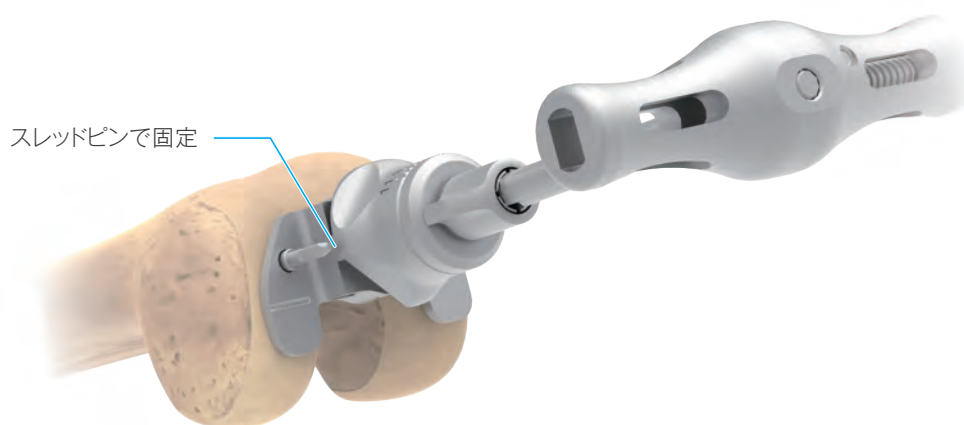
A. 大腿骨遠位の骨切除

IMロッドハンドル、**IMロッド**、および大腿骨**IMアライメントガイド**を組み立て、大腿骨髄腔の最狭部の先まで徒手的に挿入します。

アセンブリを所定の位置に設置したら、アライメントガイド先端のロックノブを回してアライメントガイドを**IMロッド**に固定します。必要に応じて、外反角ダイヤルを回してさらに調整します。



アライメントガイドが大腿骨遠位にしっかりと設置されたら、**スレッドピン**を使用してアセンブリを固定します。



器具



IMロッドハンドル
9304-1101



IMロッド
9304-3002



大腿骨IMアライメントガイド
9304-2101



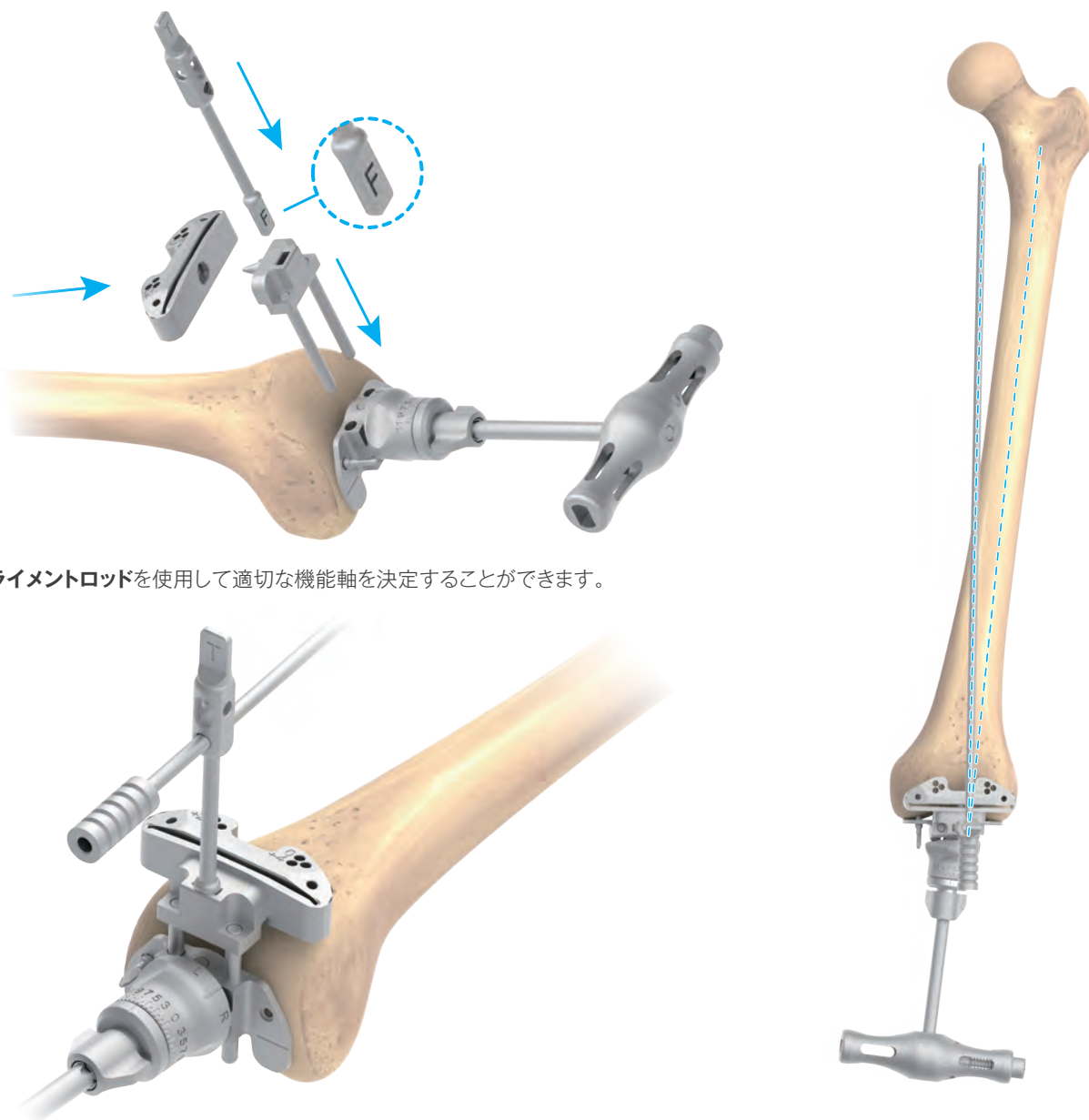
スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004

A. 大腿骨遠位の骨切除

大腿骨遠位部の骨切除

大腿骨遠位アライメントガイドと大腿骨遠位骨切りガイドの両方を大腿骨IMアライメントガイドに装着します。

図のように、EMアライメントタワーの「F」側(大腿骨)を大腿骨遠位アライメントガイドに挿入します。



アライメントロッドを使用して適切な機能軸を決定することができます。

器具



大腿骨遠位
アライメントガイド
9304-2102



大腿骨
遠位骨切りガイド
9304-2000



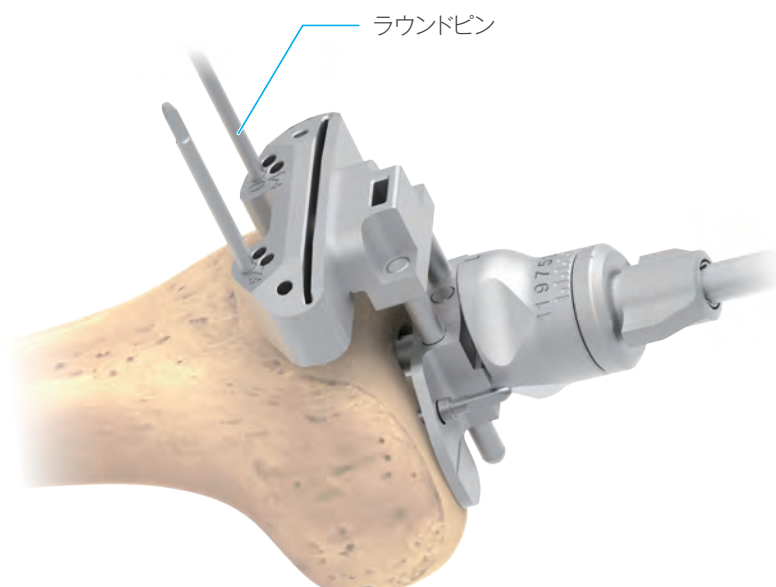
EMアライメントタワー
9304-2103



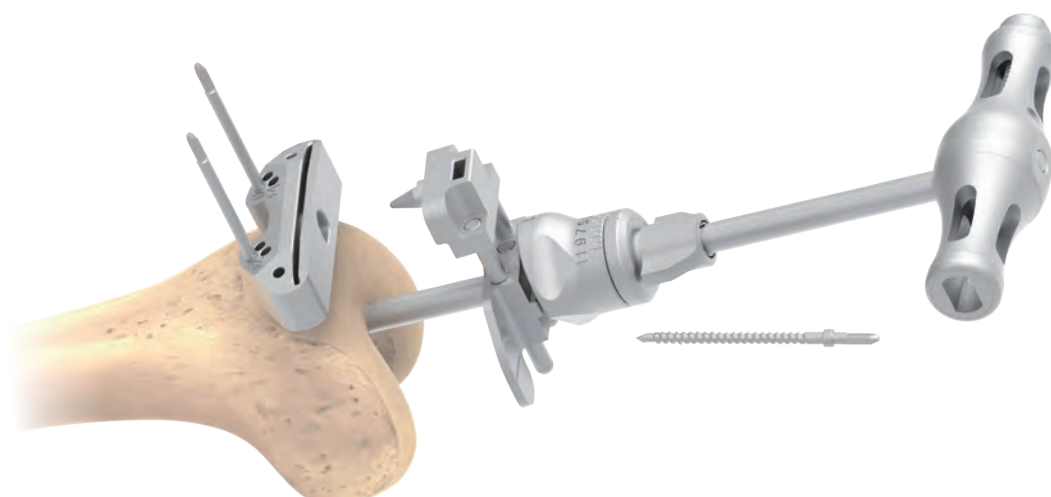
アライメントロッド
9403-2202

A. 大腿骨遠位の骨切除

3.2 mm径ドリルを用い、**大腿骨遠位骨切りガイド**の前面にある「0」とマークされたピンホールから下穴を開け、2本の**ラウンドピン**を用いて骨切りガイドを固定します。



大腿骨IMアライメントガイドの**スレッドピン**を取り外します。
IMロッドハンドルを遠位側に引いて、**大腿骨遠位骨切りガイド**を外します。



器具



3.2 mm径ドリル
9304-3100



ラウンドピン
9304-3005



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



大腿骨
IMアライメントガイド
9304-2101



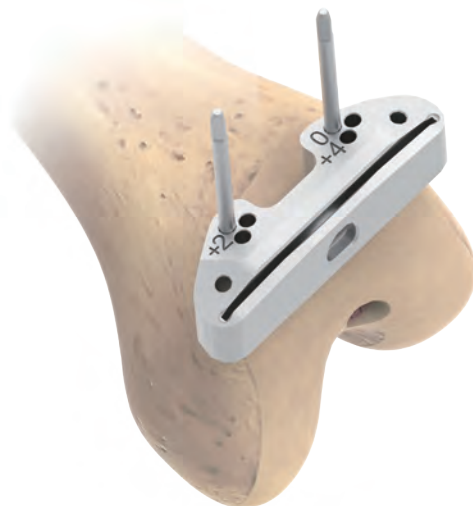
大腿骨
遠位骨切りガイド
9304-2000



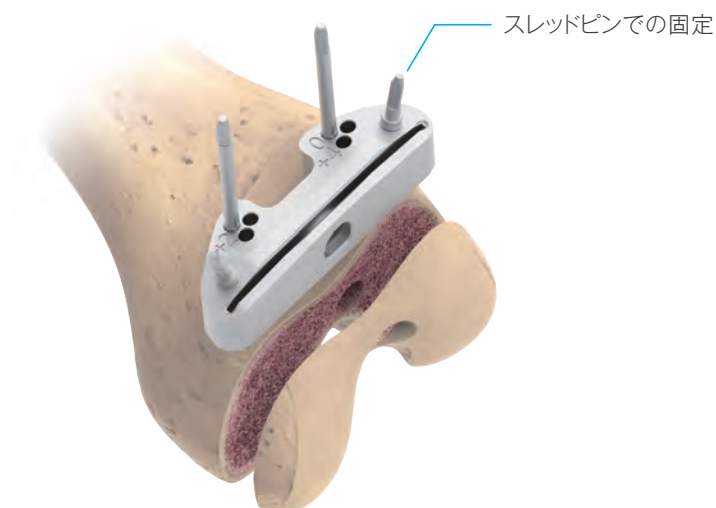
IMロッドハンドル
9304-1101

A. 大腿骨遠位の骨切除

大腿骨遠位骨切りガイドは、骨切りを追加できるように、+2 mm / +4 mmのピンホールが設けられています。



大腿骨遠位の骨切りを行う前に、追加の**スレッドピン**を挿入し、骨切りガイドをさらに固定します。
次に、標準の0.050インチ(1.27 mm)厚のソー・ブレードを用いて、大腿骨遠位部の骨切りを行います。



器具



大腿骨
遠位骨切りガイド
9304-2000



ラウンドピン
9304-3005

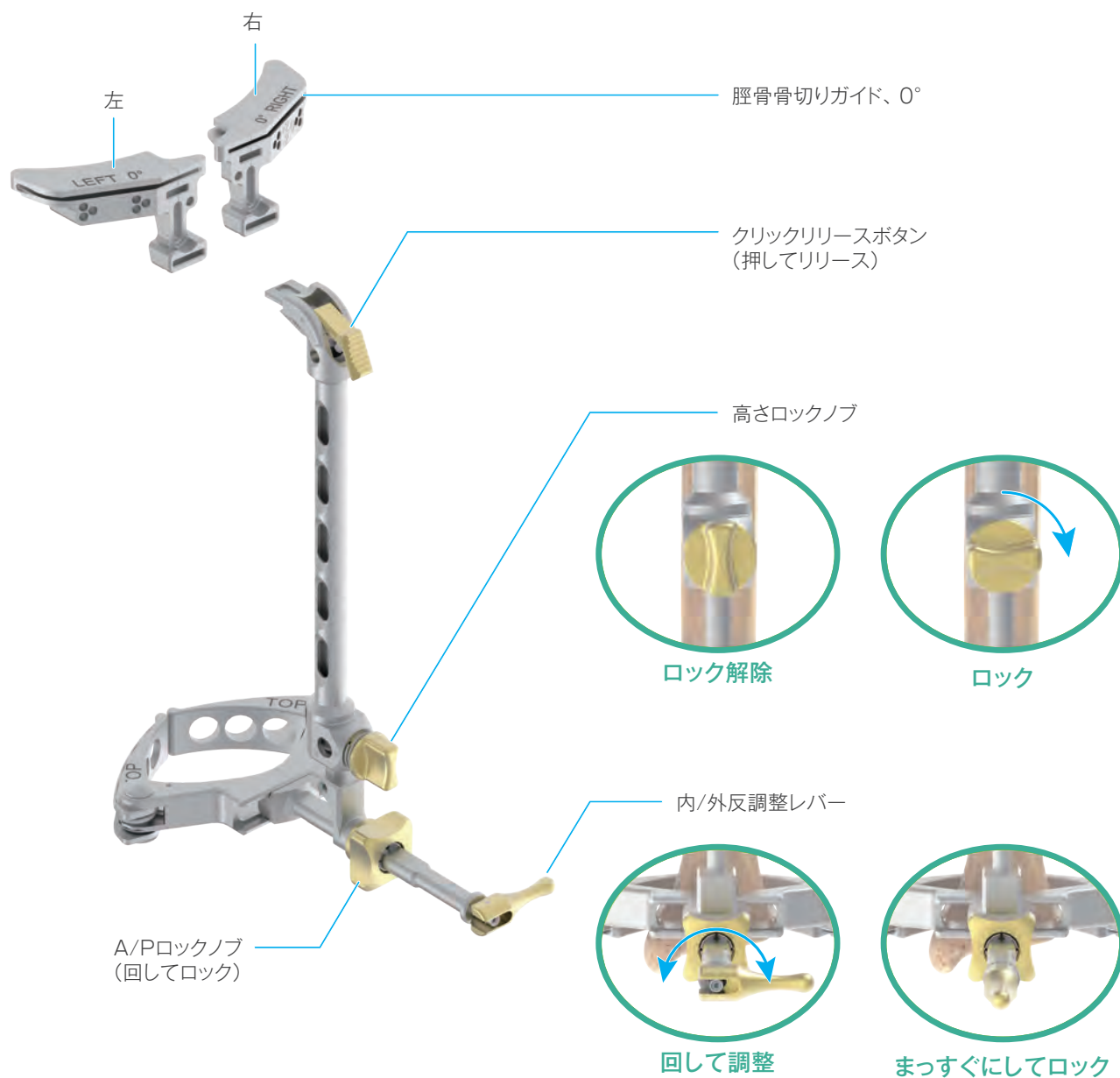


スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004

B. 脛骨近位の骨切除

脛骨髄外アライメント法

脛骨骨切りガイドを脛骨EMアライメントガイドに取り付けます。



器具



脛骨骨切りガイド
左:9404-2001
右:9404-2002

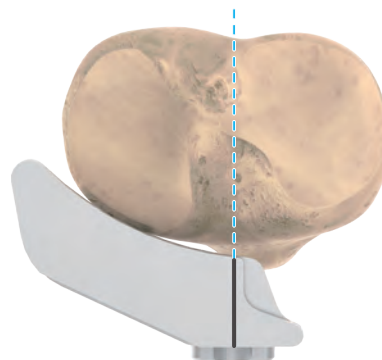


脛骨EM
アライメントガイド
9404-2101

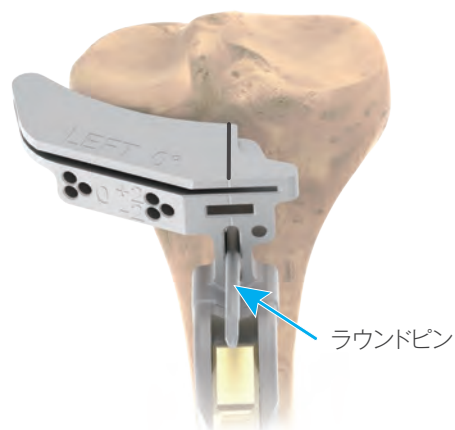
B. 脛骨近位の骨切除

膝関節を90度屈曲させ、**脛骨EMアライメントガイド**の足関節クランプを、足関節の周りに設置します。

高さロックノブを回して調整用ロックを解除し、**脛骨EMアライメントガイド**をおおよその脛骨の長さに調整します。



脛骨骨切りガイドの中央の溝を脛骨結節の内側3分の1に合わせます。



ラウンドピン

バーティカルスロットに**3.2mm径ドリル**で下穴を開け、**ラウンドピン**で近位側の回旋を固定します。

器具



脛骨骨切りガイド
左:9404-2001
右:9404-2002



脛骨EM
アライメントガイド
9404-2101



ラウンドピン
9304-3005

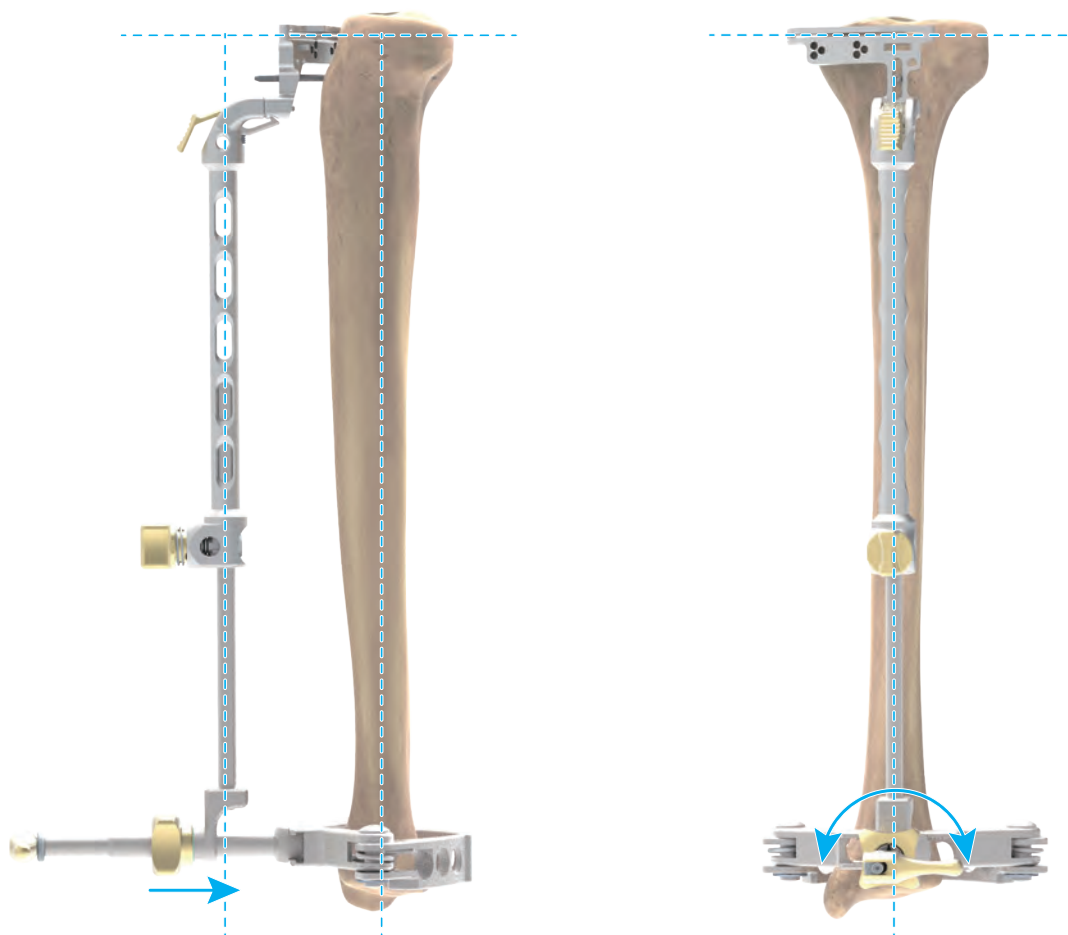


3.2 mm径ドリル
9304-3100

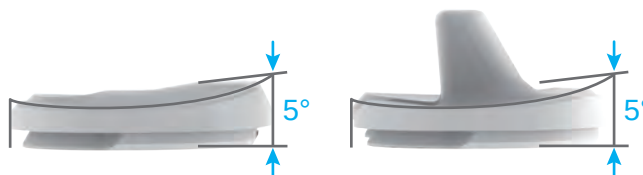
B. 脛骨近位の骨切除

A/Pロックノブをスライドさせ、内/外反調整レバーを回して、**脛骨EMアライメントガイド**の縦軸を機能軸と平行になるように合わせます。

次に、ノブをロック位置(まっすぐ)にし、正しい内/外反のアライメントに調整します。



備考:
U2 KneeシステムのCR/PS両方のインサートには5度の後方傾斜が組み込まれているため、0度の近位脛骨骨切りが推奨されます。



器具



脛骨骨切りガイド
左:9404-2001
右:9404-2002

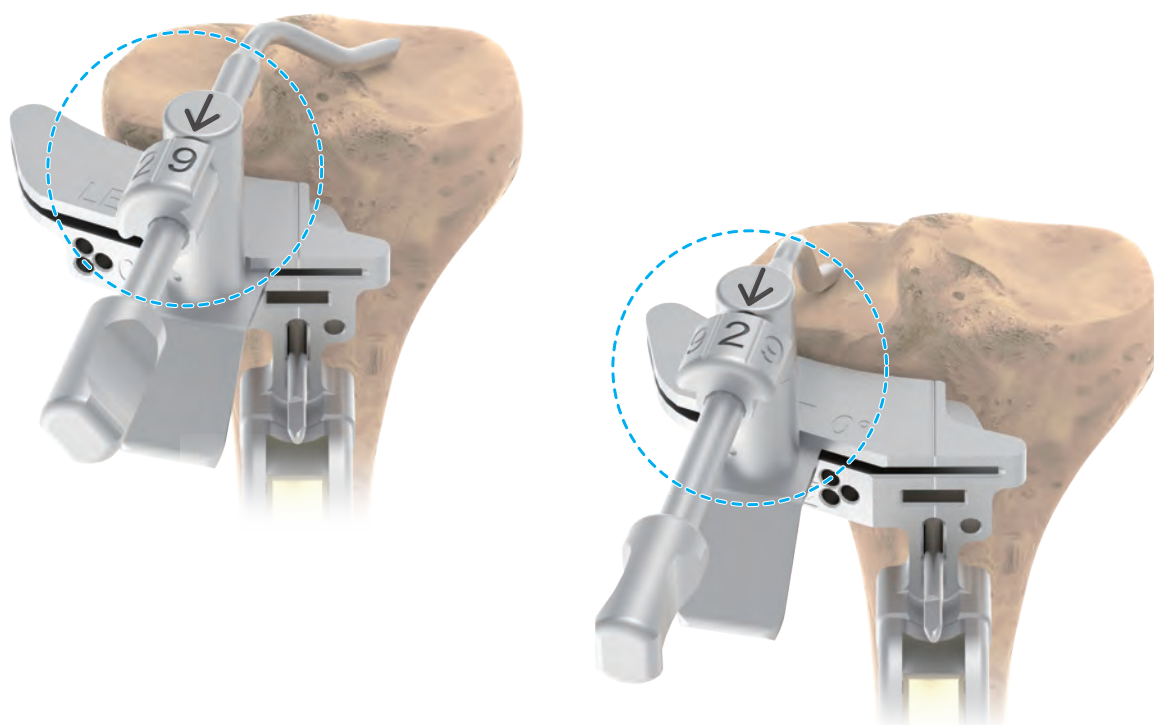


脛骨EM
アライメントガイド
9404-2101

B. 脛骨近位の骨切除

適正な脛骨切除位置を決定するには、**脛骨スタイラス**をカッティングスロットに挿入し、スタイラスの先端を脛骨プラトーの適切な位置に配置します。

スタイラスのハンドルを回転させ、スタイラス先端から2 mmまたは9 mmの切除が適切かどうかを判断することができます。2 mmのスタイラス先端は、最もダメージを受けた脛骨関節面からの骨切除量を最小限にするために使用し、9 mmのスタイラス先端は、最もダメージを受けていない脛骨関節面から9 mmの脛骨近位部の骨切除のために使用します。



適正な骨切り位置が決定したら、スタイラスを取り外す前に、高さ固定ノブを回して適切な高さに固定します。

器具



脛骨スタイラス
9404-7101



脛骨骨切りガイド
左:9404-2001
右:9404-2002



脛骨EM
アライメントガイド
9404-2101

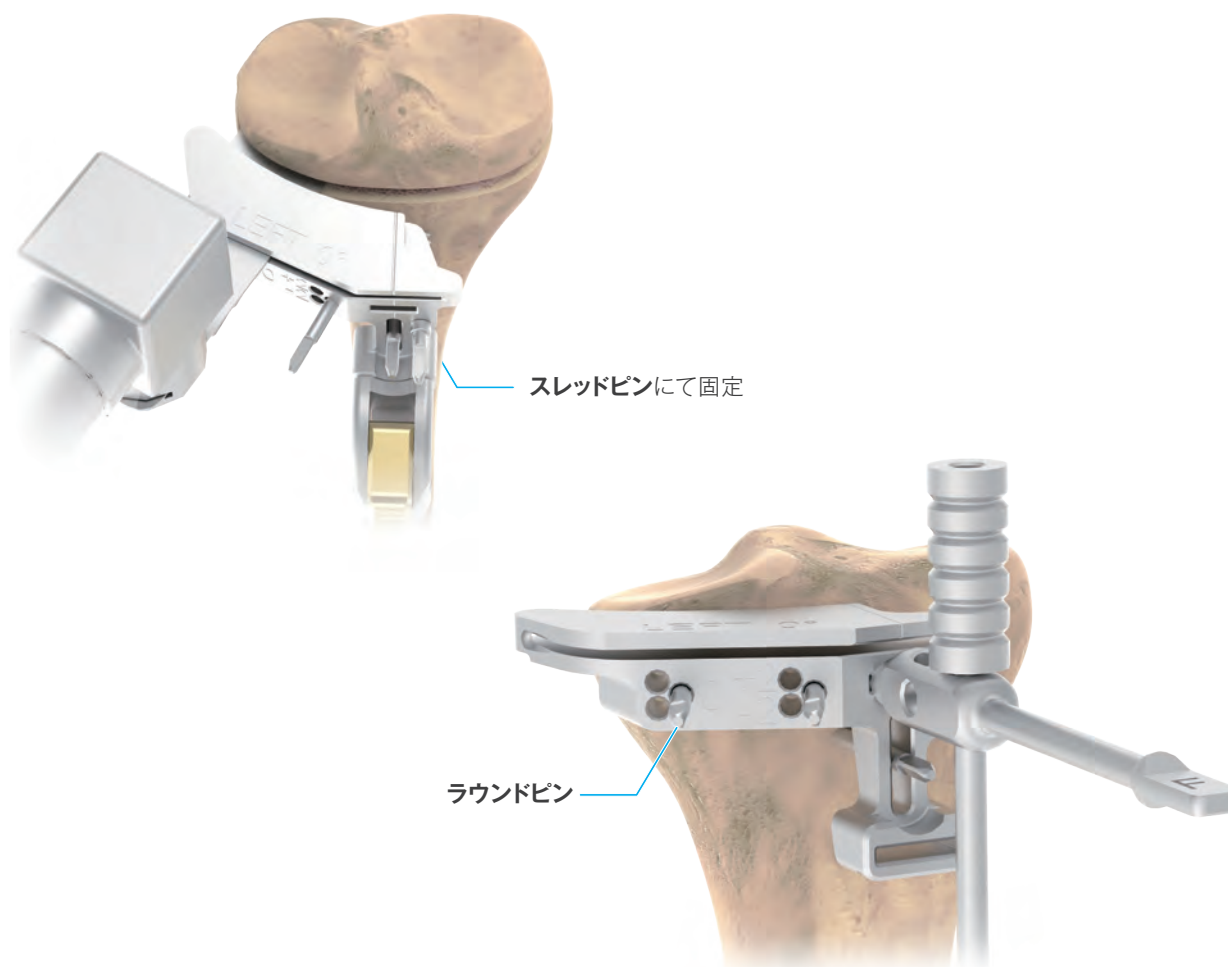
B. 脛骨近位の骨切除

スタイラスを取り外します。

3.2mm径ドリルで骨切りガイドの前面にある「0」とマークされたピンホールに下穴を開け、2本のラウンドピンを挿入して**脛骨骨切りガイド**を固定します。

しっかりと固定するために、追加の**スレッドピン**をアングルドホールから挿入することができます。

次に、決定された位置で**脛骨EMアライメントガイド**を用いて、または用いずに脛骨近位の骨切除を行うことができます。



オプション:

必要に応じて、脛骨を骨切りする前に、**EMアライメントタワー**の「T」側(脛骨)を骨切りガイドに挿入し、**アライメントロッド**を使用してアライメントを再確認します。

器具



脛骨骨切りガイド
左:9404-2001
右:9404-2002



ラウンドピン
9304-3005



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



脛骨EM
アライメントガイド
9404-2101



EMアライメントタワー
9304-2103



アライメントロッド
9403-2202

C. 伸展ギャップ評価

骨棘を完全に取り除きます。

膝を伸展させ、**ギャップゲージ**の適切な端部を挿入して、膝の伸展ギャップを確認します。骨切除量の評価に**アライメントロッド**を使用することができます。



器具



ギャップゲージ
9/11 mm
9404-7009



アライメントロッド
9403-2202

C. 伸展ギャップ評価

追加の+ 4 mmまたは+ 9 mmブロックを**ギャップゲージ**と組み合わせて、適切な緊張を確認し、伸展ギャップを評価することができます。



9mm+4mm
=13mm 脛骨コンポーネント厚



11mm+4mm
=15mm 脛骨コンポーネント厚



9mm+9mm
=18mm 脛骨コンポーネント厚

大腿骨AP切除後の屈曲ギャップの評価にも同じ**ギャップゲージ**を使用できます。

器具



ギャップゲージ
13/15 mm
9404-7113



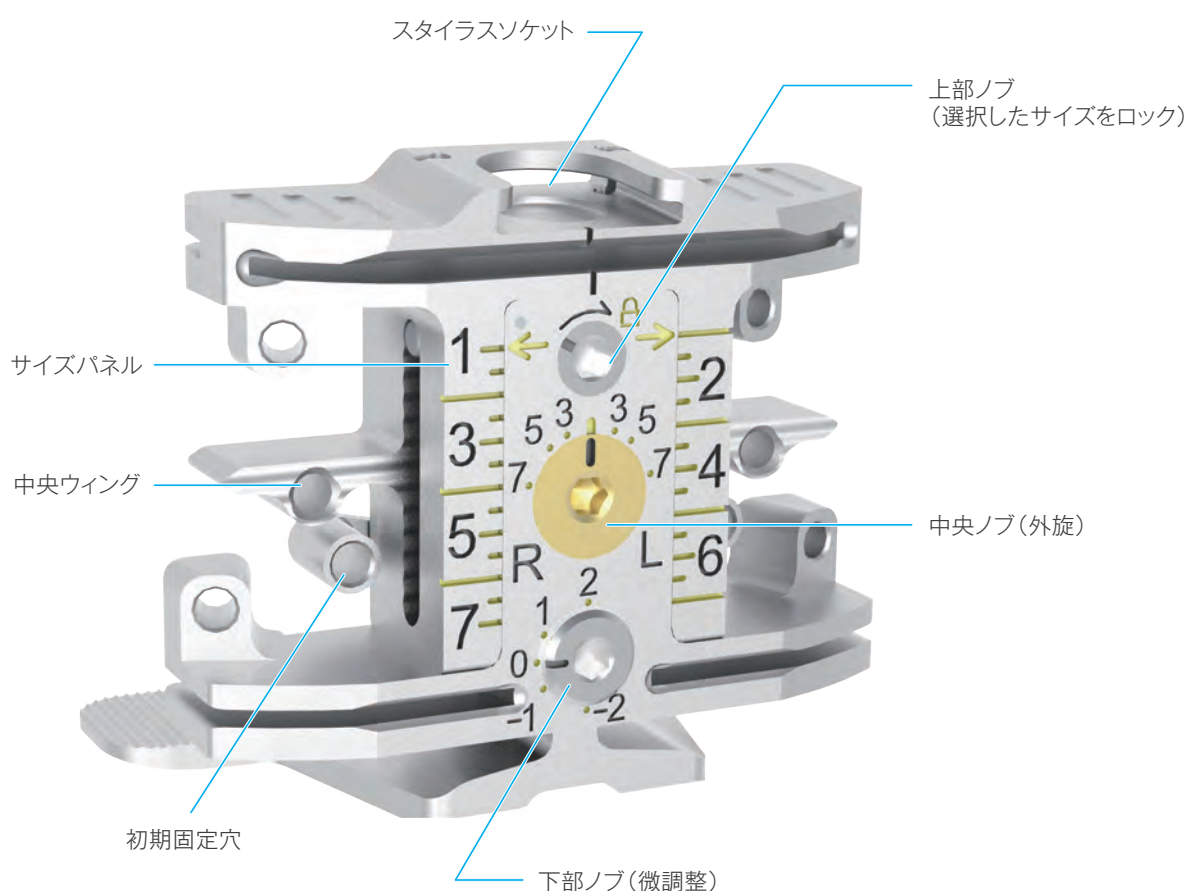
ギャップゲージ
18 mm
9404-7118

D.大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

U2 Knee AiO™

オールインワン ブロック

サイザーおよびAPカッティングジグ



器具

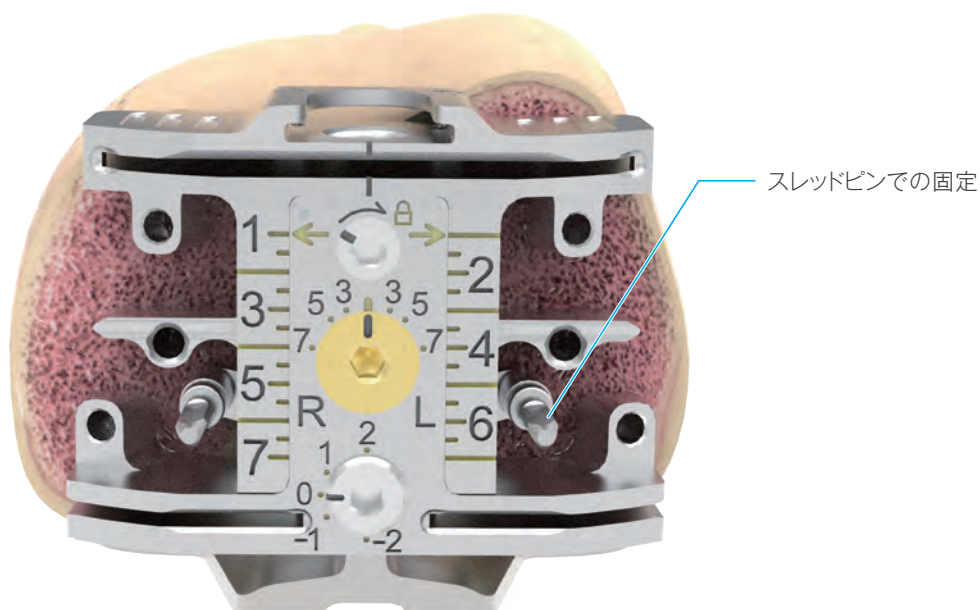


AiOブロック
9304-7101

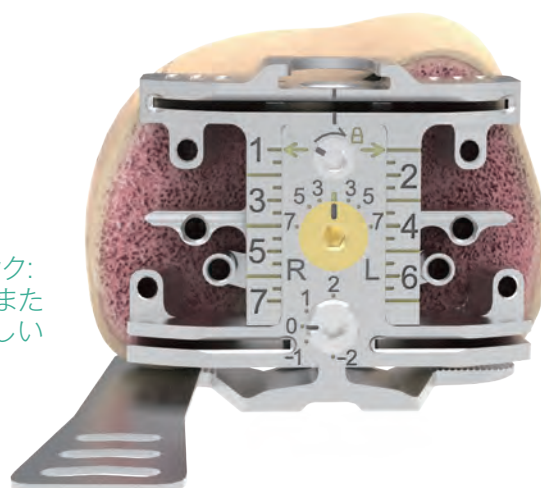
D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

AiOブロックの配置

後顆を**AiOブロック**後方のパドルに載せた状態で、骨切りされた大腿骨遠位面に対してブロックを配置します。次に、後方のパドルと同じパーツの穴から2本の**スレッドピン**でAiOブロックを固定します。



過度に摩耗した後顆のためのオプションのテクニック:
片側の後顆が過度に摩耗している場合は、1 mmまたは2 mmの**ギャップスペーサー**を使用して、望ましい後顆の厚さに調整してください。



器具



AiOブロック
9304-7101



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



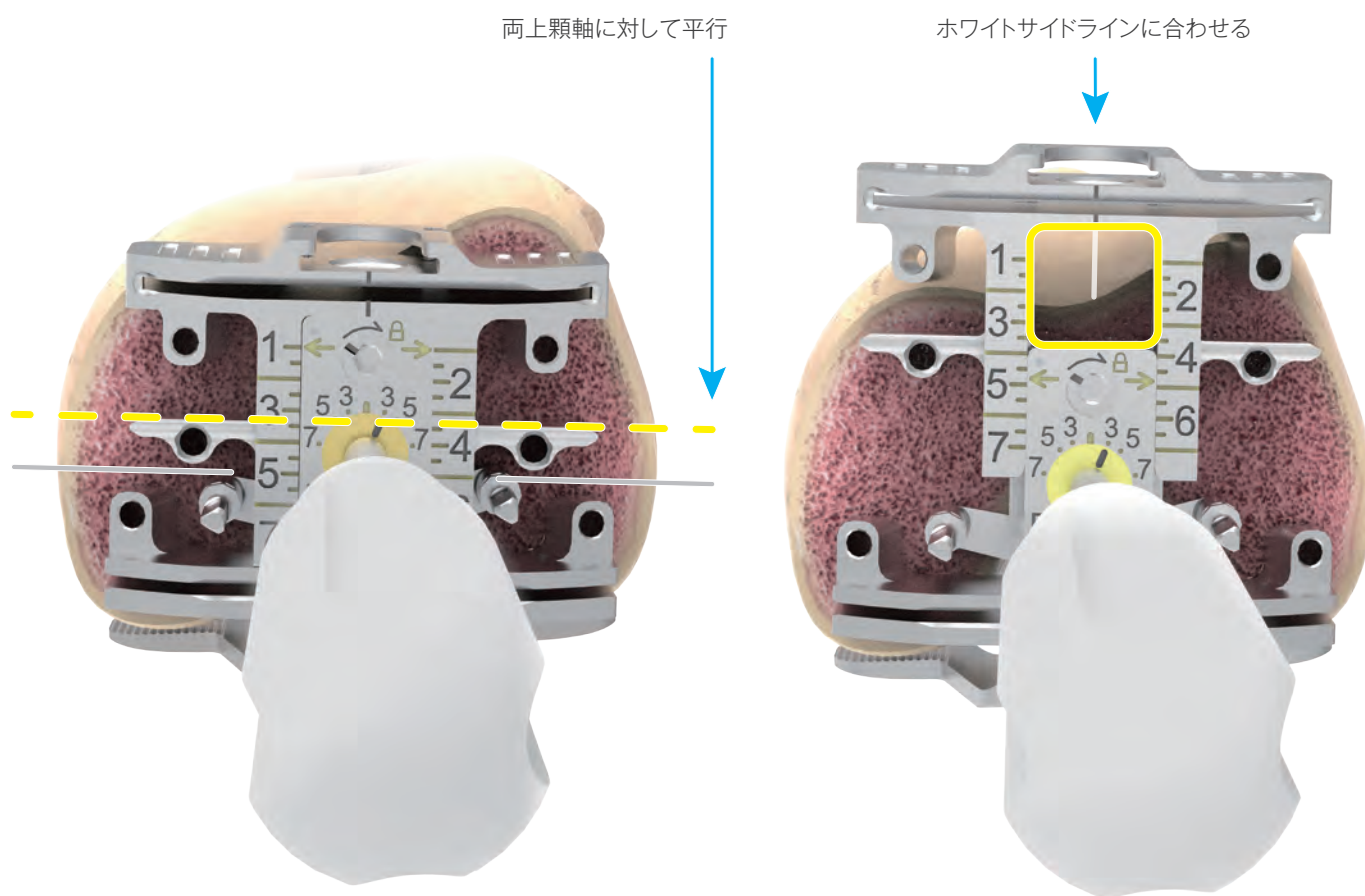
ギャップスペーサー
1 mm/2 mm
9304-5301/9304-5302

D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

外旋角を決定する

スクレイドライバーで中央ノブを回転させることで、両上顆軸とホワイトサイドラインを基準にして適切な外旋角に調整できます。

マーキングは後顆に対する回旋角を示し、3度から7度まで1度刻みで調整できます。



器具



AiOブロック
9304-7101

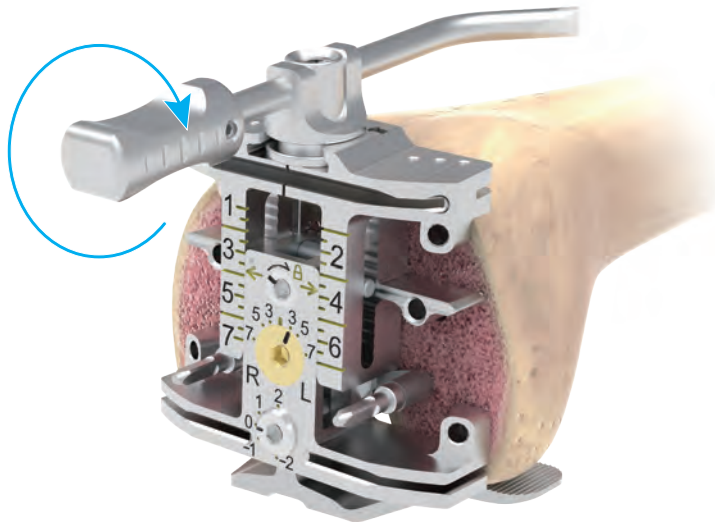


スクレイドライバー
9304-1102

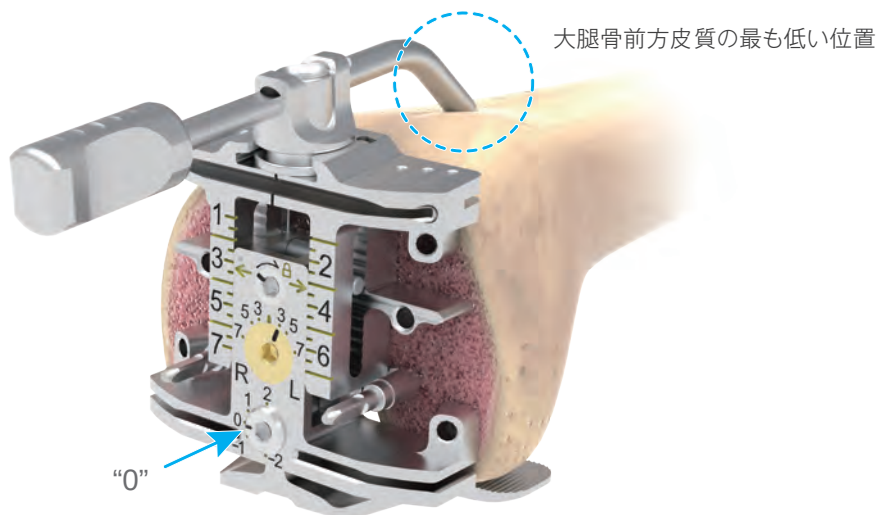
D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

大腿骨のサイジング

大腿骨スタイラスのハンドルをロック解除位置まで回します。
次にスタイラスをAiOブロック上部のスロットに挿入します。スタイラスハンドルを回してロック位置に戻します。



スタイラスの先端を前方大腿骨皮質の**最も低い位置**に触れるように設置すると、大腿骨コンポーネントのサイズがメインパネルで読めます。インジケーターは実寸と一致しない場合があります。
術者は、前方リファレンスまたは後方リファレンスに基づいて骨切り位置を決定することができます。



器具



AiOブロック
9304-7101



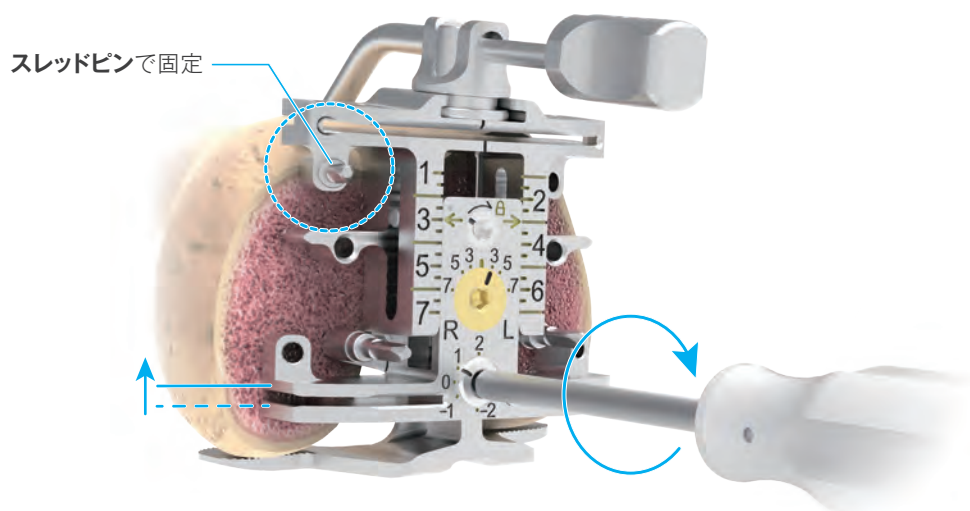
大腿骨用スタイラス
9304-7102

D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

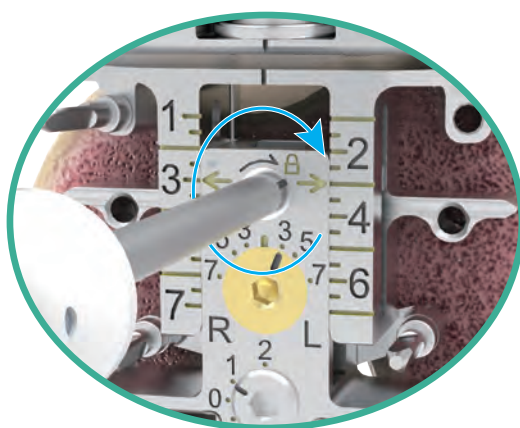
骨切り位置を決定する

・アンテリアリファレンス:

スレッドピンで前方スロットを固定します。次に、選択したサイズに合うようにスクリュードライバーで下部ノブを調整して、後方スロットを持ち上げます。下部ノブの隣の数字は、標準的な9 mmのカッティングに対する後方骨切り位置の調整を示しています。



至適サイズが決まったら、スクリュードライバーで上部ノブをロック位置まで回し、選択したサイズを固定します。



器具



AiOブロック
9304-7101



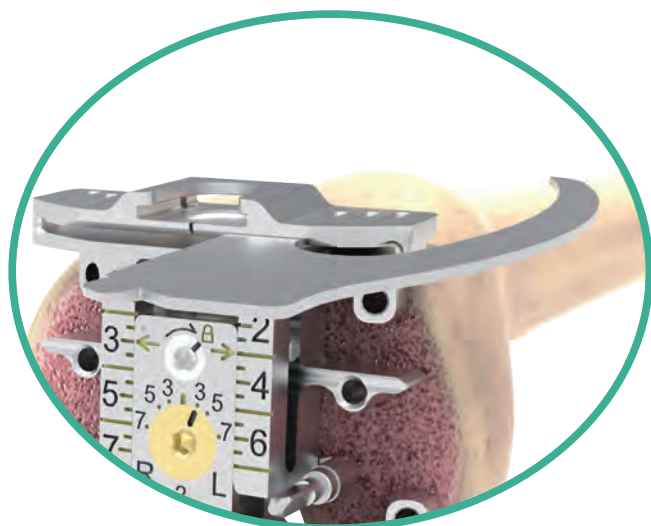
スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



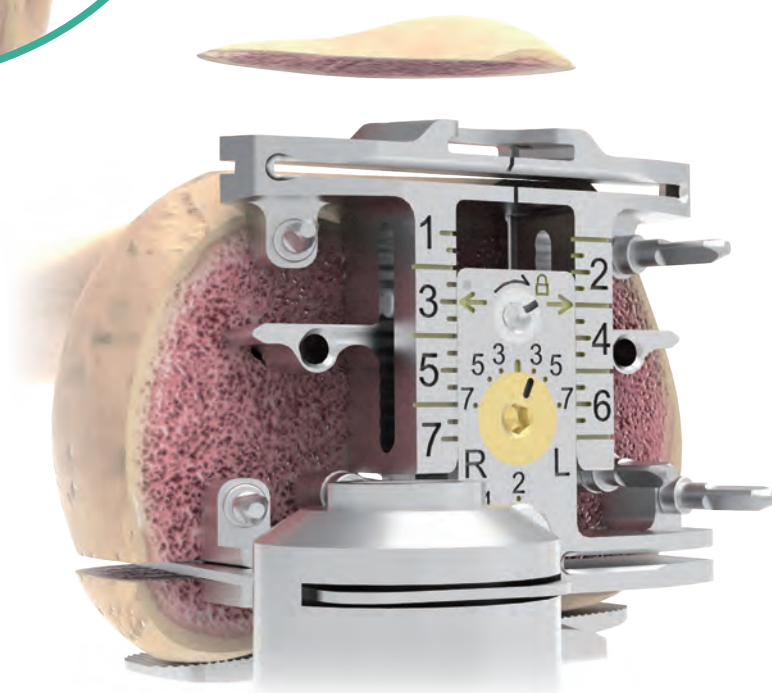
スクリュードライバー
9304-1102

D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

大腿骨スタイルスを取り外し、前方と後方のスロットをスレッドピンで固定して、前方と後方の骨切りを行います。



必要に応じ、骨切除の前に骨切りチェックブレードを使用して骨切り位置を確認してください。



器具



AiOブロック
9304-7101



大腿骨用スタイルス
9304-7102



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004

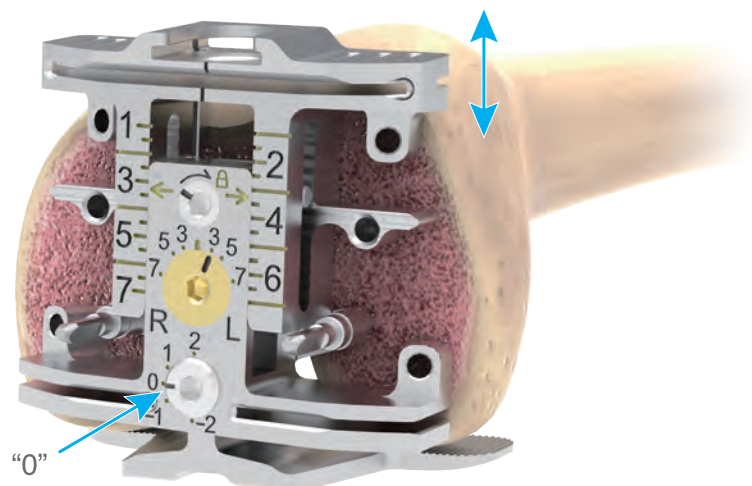


骨切りチェックブレード
9304-7000

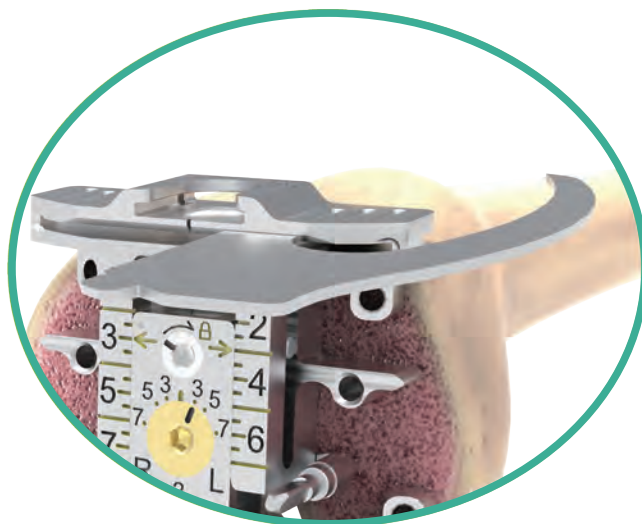
D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

・ポステリアリファレンス:

下部ノブが「0」を示していることを確認してください。これは、人工関節の9 mmの標準後方厚を表します。次に、スタイラスを取り外します。メインパネルの適切なサイズに合うように、前方スロットをスライドさせます。



骨切り位置は必ず**骨切りチェックブレード**で確認してください。



器具



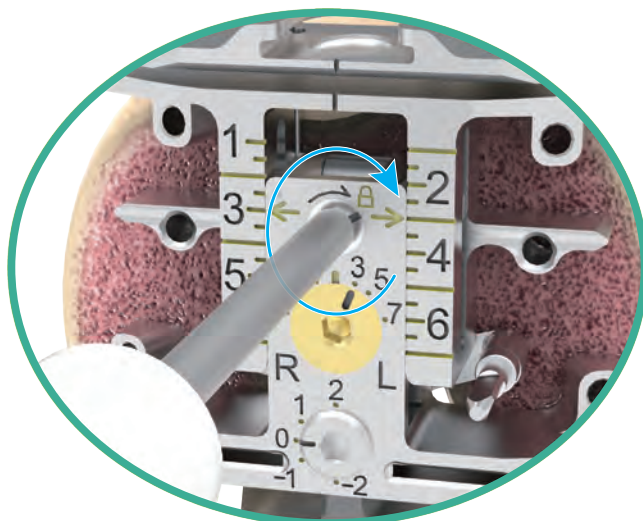
AiOブロック
9304-7101



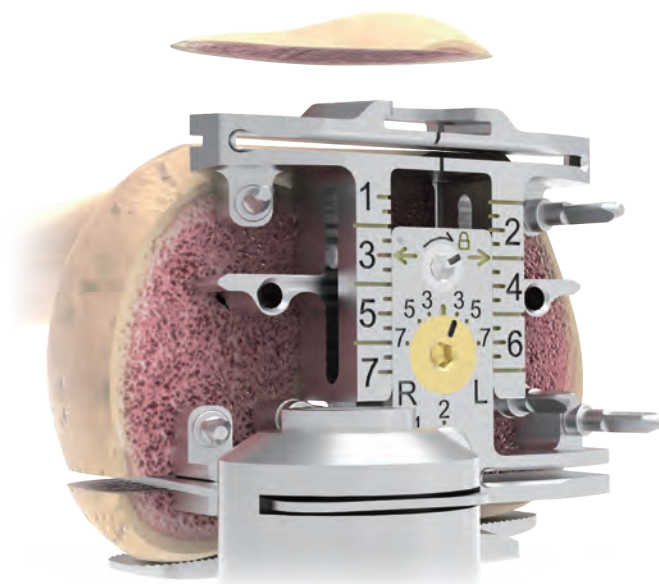
骨切りチェックブレード
9304-7000

D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

サイズが決定したら、**スクレイドライバー**で上部ノブをロック位置まで回し、選択したサイズを固定して、カッティングブロックをロックします。



前方と後方のスロットを**スレッドピン**で固定し、前方と後方の骨切りに進みます。



器具



AiOブロック
9304-7101



スクレイドライバー
9304-1102

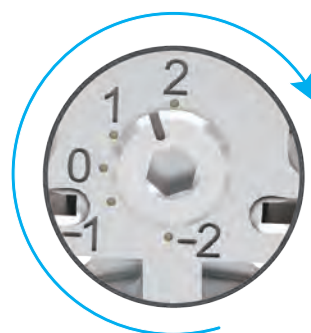
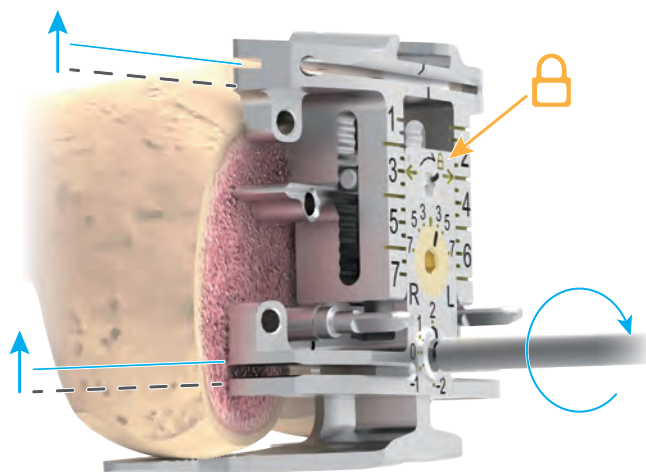


スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004

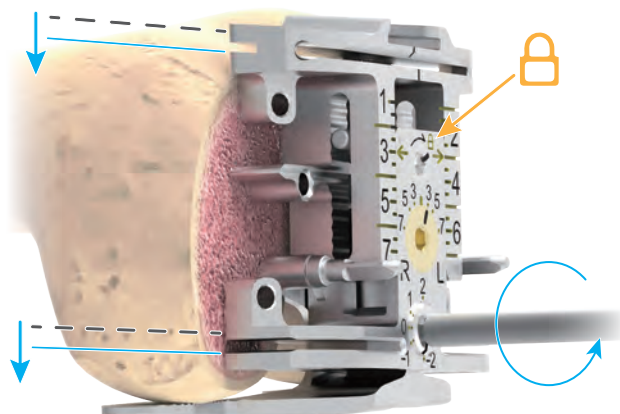
D.大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

微調整

時折、適切なサイズを選択しても、望ましい骨切り位置に満足できないことがあります。その場合は、わずかに前後の骨切除量を再設定することができます。上部ノブを**ロック位置**にした状態で、**スクレイドライバー**を使用して下部ノブを時計回りに回すと、前方のカットが小さくなり、後方のカットが大きくなります。逆に、下部ノブを反時計回りに回転させると、前方のカットが大きくなり、後方のカットが小さくなります。調整範囲は、標準の9 mm後方カットに対して+ 2 mm ~ -2 mmです。



時計回りの回転：
前方がより小さく、
後方がより大きい骨切除



反時計回りの回転：
前方がより大きく、
後方がより小さい骨切除

器具



AiOブロック
9304-7101

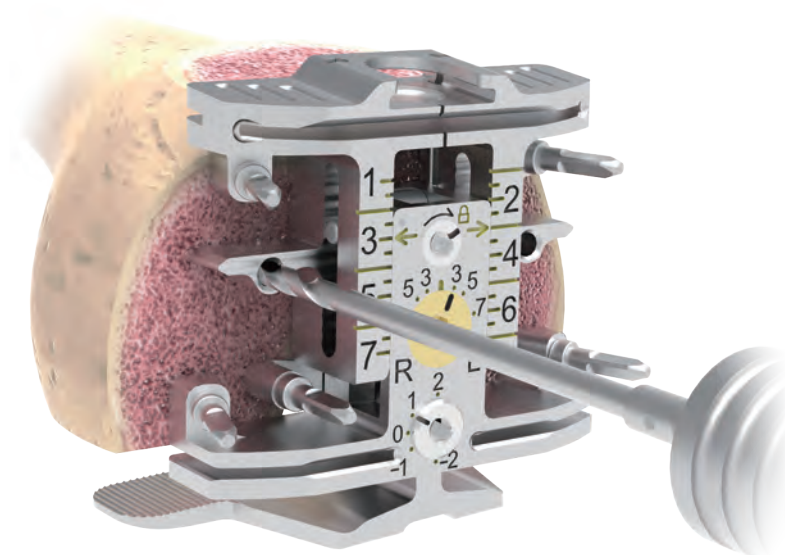


スクレイドライバー
9304-1102

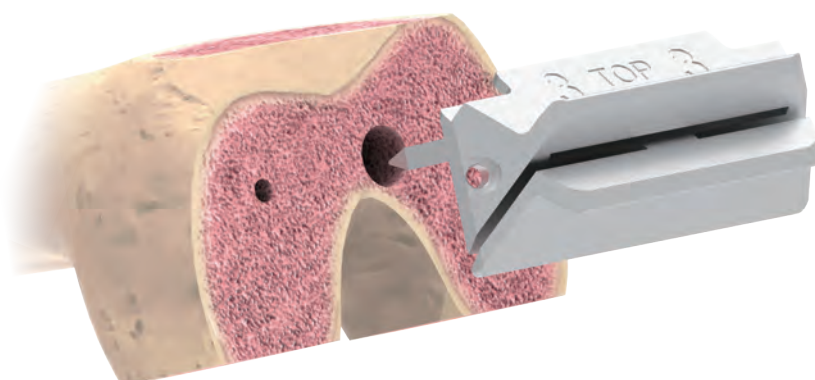
D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

シャンファアカット

AiOブロックを取り外す前に、シャンファア骨切りガイド用に**3.2 mm径ドリル**で2つの下穴を開けます。



適切なサイズの**大腿骨シャンファア骨切りガイド**を事前に開けた下穴に入れます。



器具



3.2 mm径ドリル
9304-3100



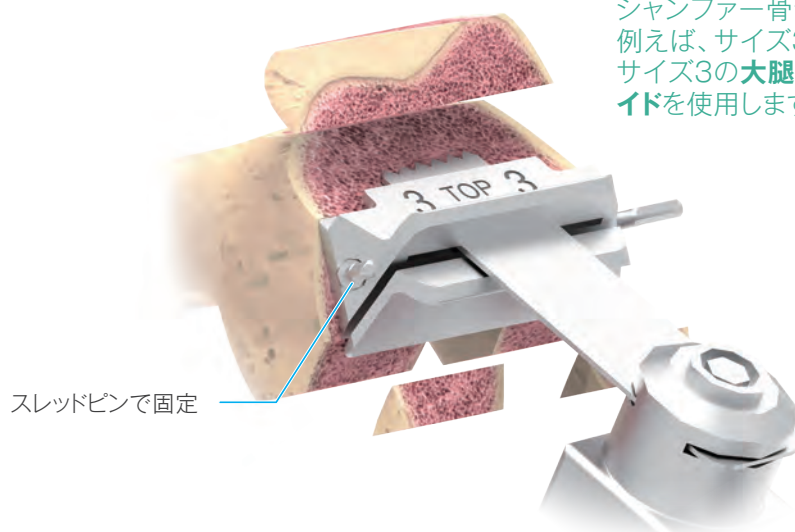
大腿骨シャンファア骨切りガイド
カタログ番号は
サイズによって異なる

D. 大腿骨のサイジングおよびシャンファアの骨切除

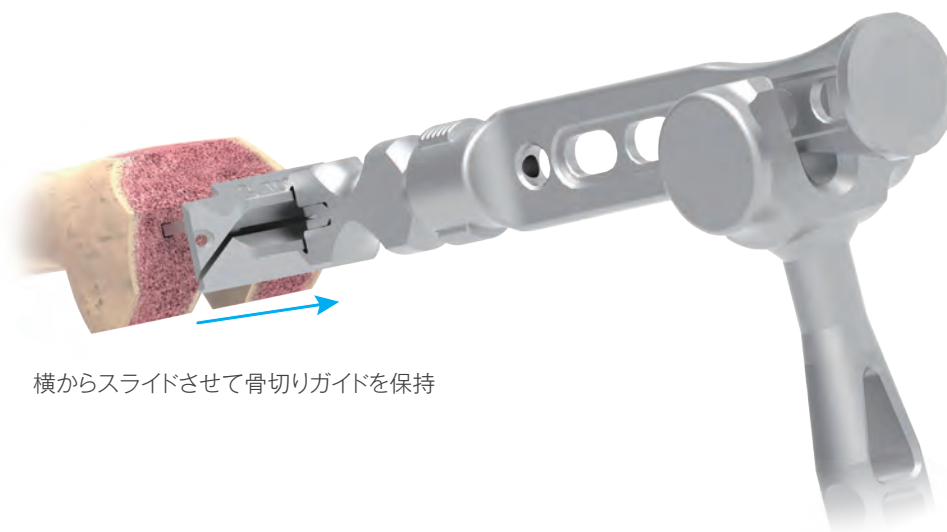
大腿骨シャンファア骨切りガイドをスレッドピンで固定してから、シャンファアの骨切除を完了します。

備考：

中間の大腿骨サイズは、整数サイズのシャンファア骨切りガイドを使用します。
例えば、サイズ3.5とサイズ3はどちらもサイズ3の**大腿骨シャンファア骨切りガイド**を使用します。



シャンファア骨切りガイドは、**大腿骨シャンファア骨切りガイドエクストラクター**と**モジュラー式ハンドル**を組み合わせて取り外すことができます。



器具



大腿骨シャンファア骨切りガイド
カタログ番号は
サイズによって異なる



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



大腿骨シャンファア
骨切りガイド
エクストラクター
9304-5108-RB



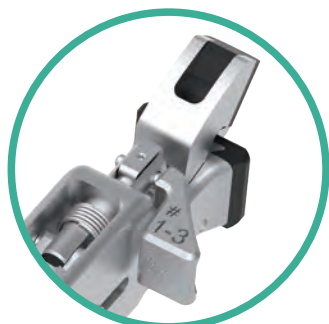
モジュラー式ハンドル
9304-1103



スロット付きハンマー
9304-5104

E. トライアル整復

大腿骨ドライバーは、フェモラルトライアルの正確な位置決めに使用します。

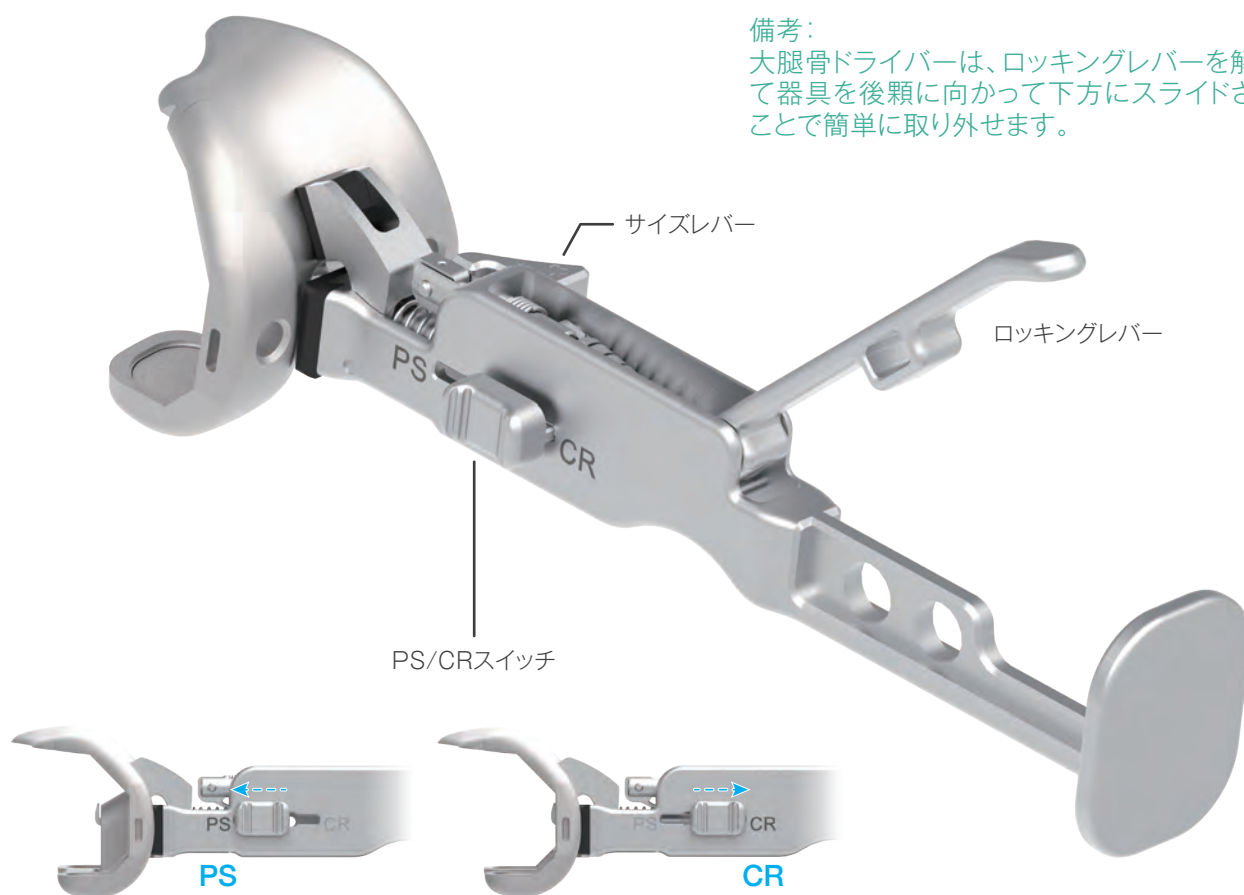


サイズ: #1-#3



サイズ: #3.5-#7

備考:
大腿骨ドライバーは、ロックingleバーを解除して器具を後顆に向かって下方にスライドさせることで簡単に取り外せます。



器具



大腿骨ドライバー
9304-5101



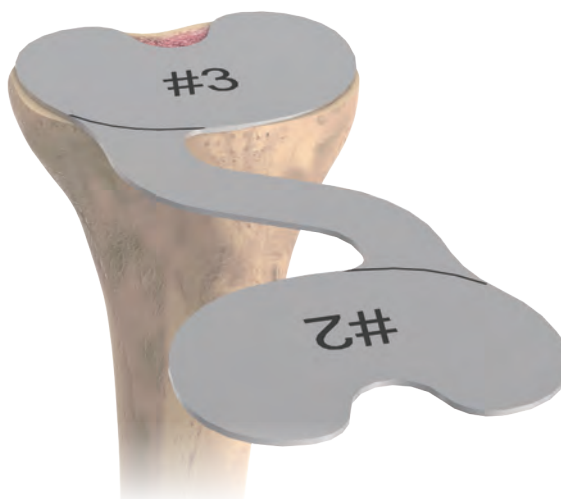
フェモラルトライアル
カタログ番号はサイズによって異なる

E. トライアル整復

大腿骨ドライバーの中央スイッチを「CR」マークにスライドさせ、ロッキングレバーを持ち上げます。選択したサイズのCRフェモラルトライアルを大腿骨ドライバーに組み立て、骨切り後の大腿骨にフェモラルトライアルを装着します。



脛骨サイジングテンプレートを用いて、適正な脛骨コンポーネントのサイズを決定します。



器具



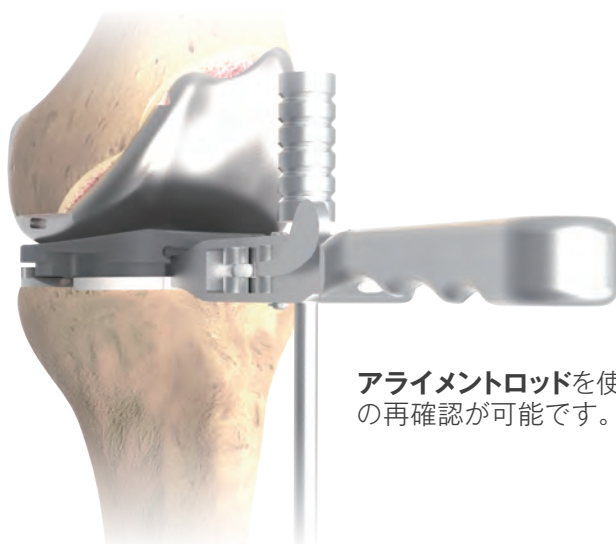
大腿骨ドライバー
9304-5101



脛骨サイジングテンプレート
カタログ番号はサイズによって異なる

E. トライアル整復

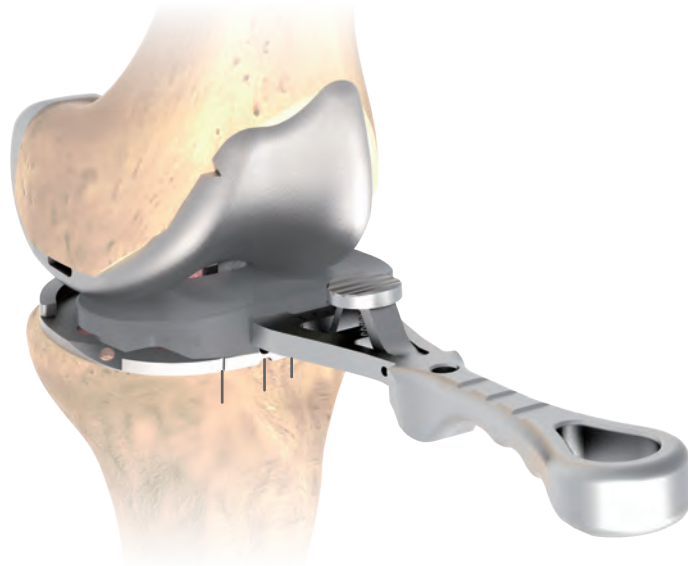
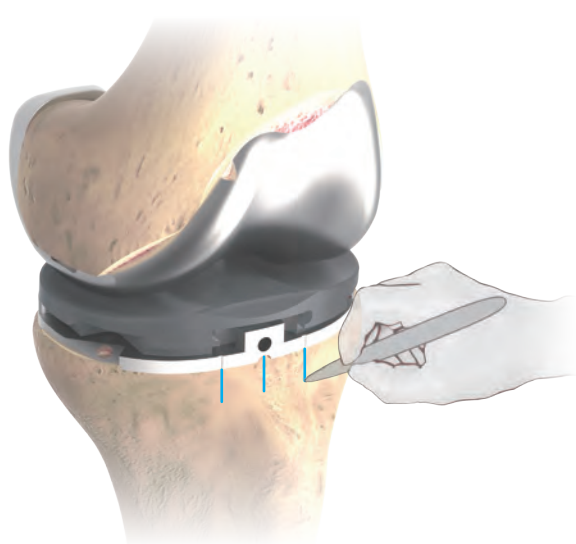
ティビアルベースプレートトライアルハンドルを用いて、9mmCRインサートトライアルおよびティビアルベースプレートトライアルを切除した脛骨の上面に設置します。



アライメントロッドを使用して、アライメントの再確認が可能です。

適切なアライメントを決定するため、すべてのコンポーネントを元通りに設置し、トライアル整復を行います。脛骨の回旋位置を確認するためマーキングすることが可能です。

インサートトライアルハンドルを用いて、インサートトライアルの厚さを変えることで、屈曲および進展ギャップを評価します。



器具



アライメントロッド
9403-2202



ティビアルベースプレート
トライアルハンドル
9404-1102



ティビアルインサート
トライアルハンドル
9404-1103



CRフェモラル
トライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる



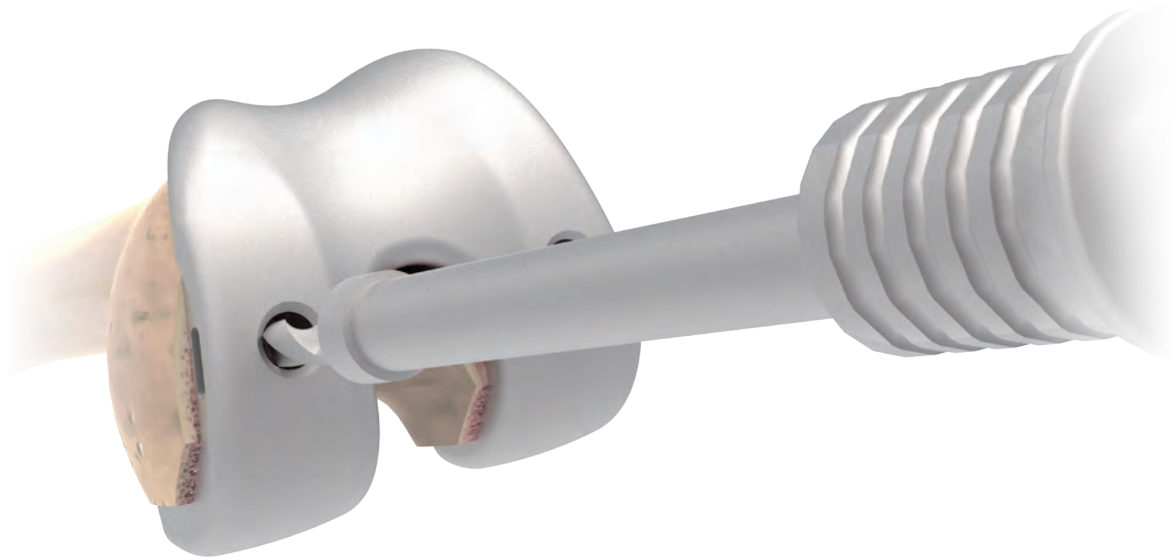
ティビアルベースプレート
トライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる



CRインサートトライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる

F. CRペグの準備

大腿骨ペグドリルでCRフェモラルトライアルの固定ペグ穴を開けます。



器具



大腿骨ペグドリル
9303-3206



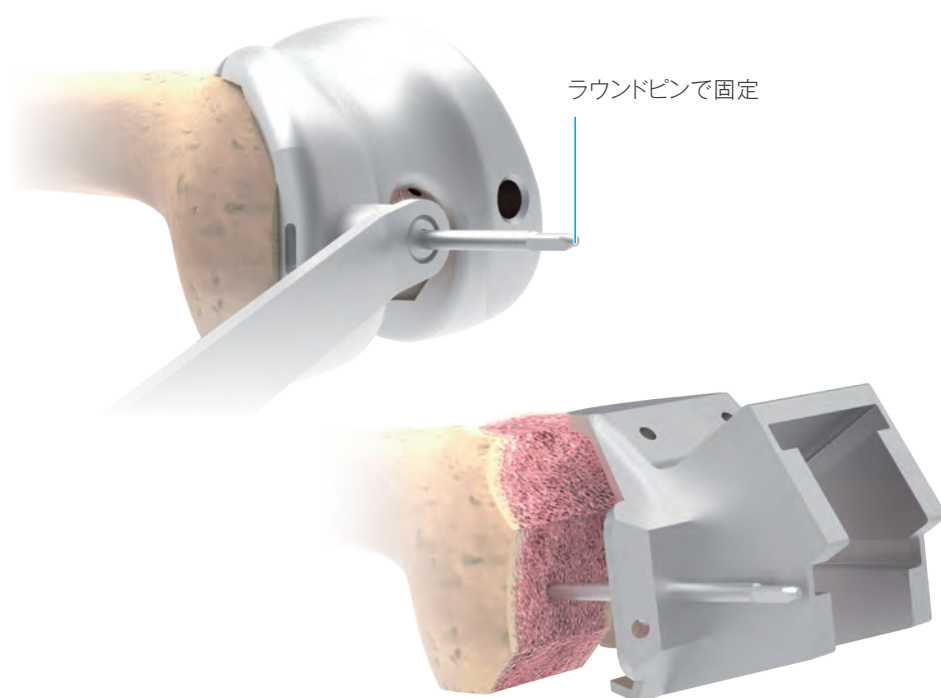
CRフェモラルトリアル
カタログ番号は
サイズによって異なる

G.PSボックスの準備

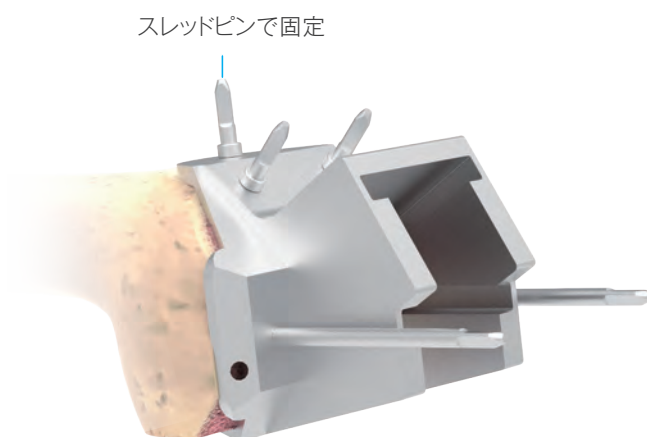
PSノッチカッティングジグの位置決め

CRフェモラルトリアルが適切な位置にある状態で、PSカッティングジグドリルガイドを片方の固定peg穴に挿入します。ドリルガイドのピンホールを通して、3.2mmドリルでパイロットホールを作成します。PSノッチカッティングジグを設置するために、ラウンドピンをドリルガイドを通して挿入します。

CRフェモラルトリアルを抜去し、PSノッチカッティングジグをスレッドピンで固定します。PSノッチカッティングガイドのM/L幅は、インプラントのM/L幅と同じです。



ラウンドピンで固定



スレッドピンで固定

器具



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



CRフェモラルトリアル
カタログ番号は
サイズによって異なる



PSカッティングジグ
ドリルガイド
9303-2104



ラウンドピン
9304-3005

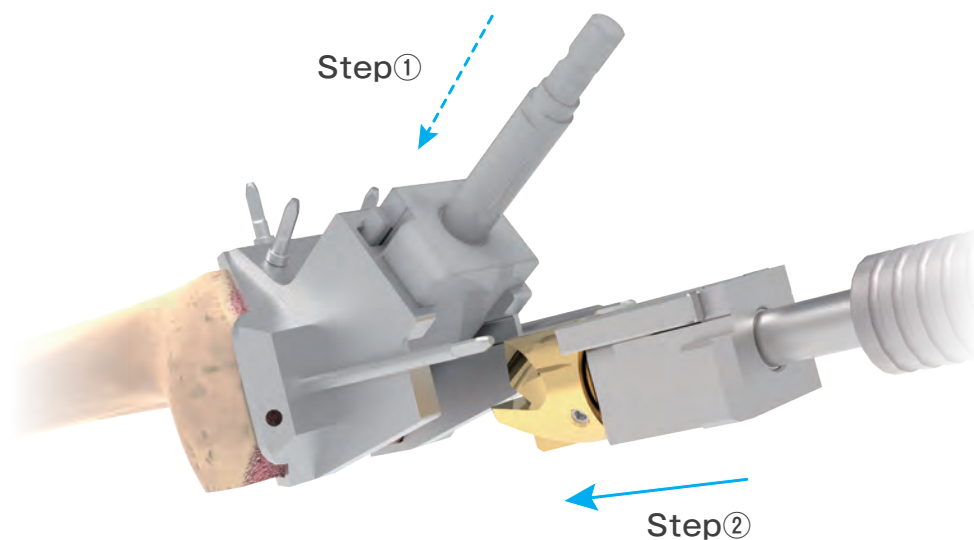


PSノッチカッティングジグ
カタログ番号は
サイズによって異なる

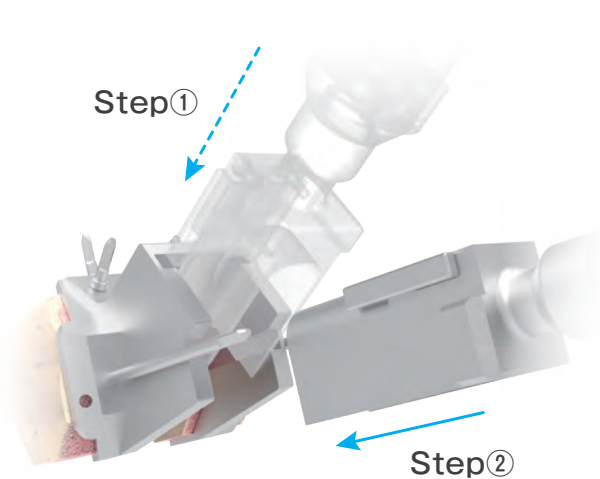
G.PSボックスの準備

PSボックスの準備

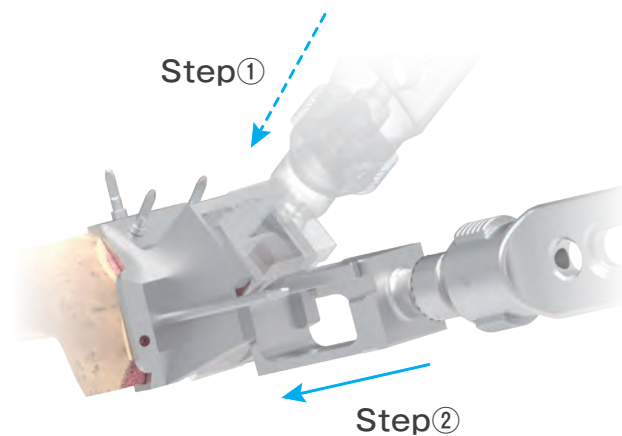
PSカuttingジグの前後両方のガイドスロットに、ストッパーに完全に当たるまで**PSリーマー**を進めます。



PSハウジングパンチを**モジュラー式ハンドル**に取り付けます。前後両方のガイドスロットにパンチを進めてノッチを形成します。



PSハウジングインパクトを進めて、事前に作成したノッチに完全にクリアランスがあるかを確認します。



スロット付きハンマーはパンチとインパクトの両方をカuttingジグから外すのに使用できます。

器具



PSリーマー
9304-4101-RA



モジュラー式ハンドル
9304-1103



PSハウジングパンチ
9304-4102



PSハウジングインパクト
9304-4103

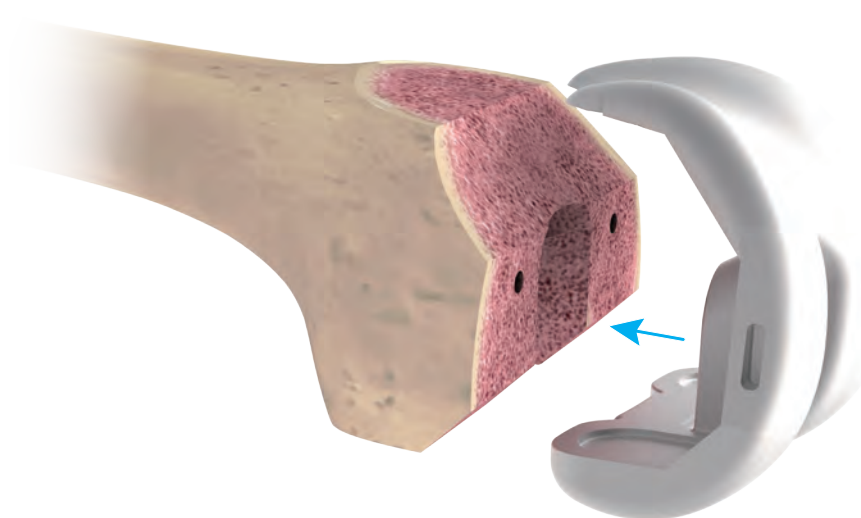


スロット付きハンマー
9304-5104

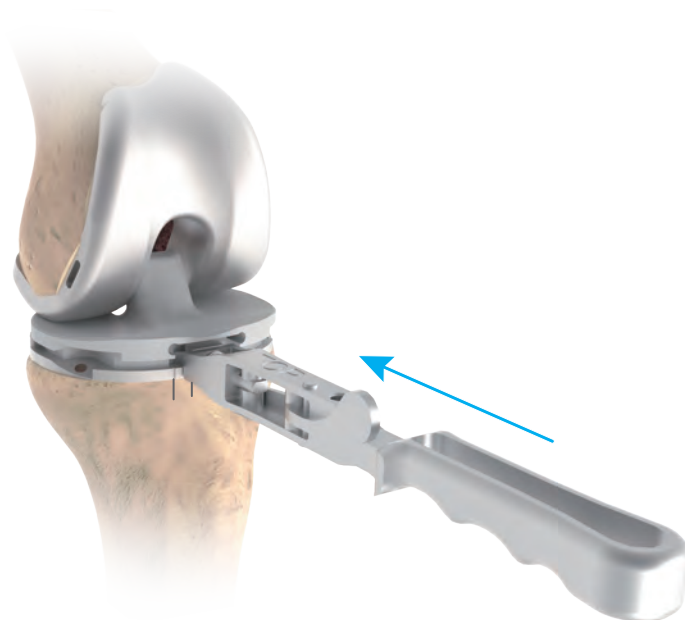
G.PSボックスの準備

トライアル整復

PSノッチカuttingジグとピンを取り外します。次に、PSフェモラルトライアルを取り付けます。



ティビアルベースプレートトライアルハンドルを使用して、PSインサートトライアルとティビアルベースプレートトライアルの両方を位置決めします。トライアル整復を実施して、通常の方法で関節の安定性と可動域を評価します。



器具



PSノッチ
カuttingジグ
カタログ番号は
サイズによって異なる



ティビアル
ベースプレート
トライアルハンドル
9404-1102



PSフェモラルトライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる



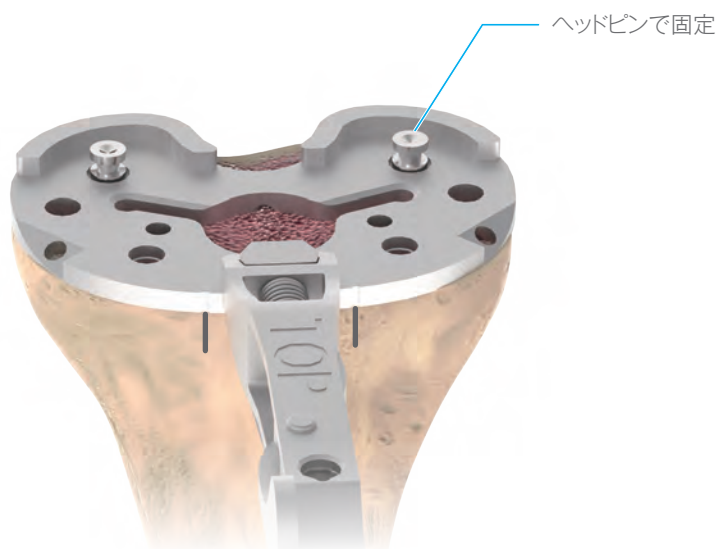
ティビアルベース
プレートトライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる



PSインサートトライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる

H.脛骨近位の準備

事前にマークした回旋方向にティビアルベースプレートトライアルを合わせ、2本のヘッドピンで固定します。



ベースプレートトライアルにティビアルパンチガイドを組み立て、ティビアルドリルガイドを挿入します。
ティビアルドリルで穴をあけ、ドリルガイドを取り外します。



器具



ティビアルベースプレート
トライアルハンドル
9404-1102



ヘッドピン
9304-3006



ティビアルドリルガイド
9404-2003



ティビアルパンチガイド
9404-2102



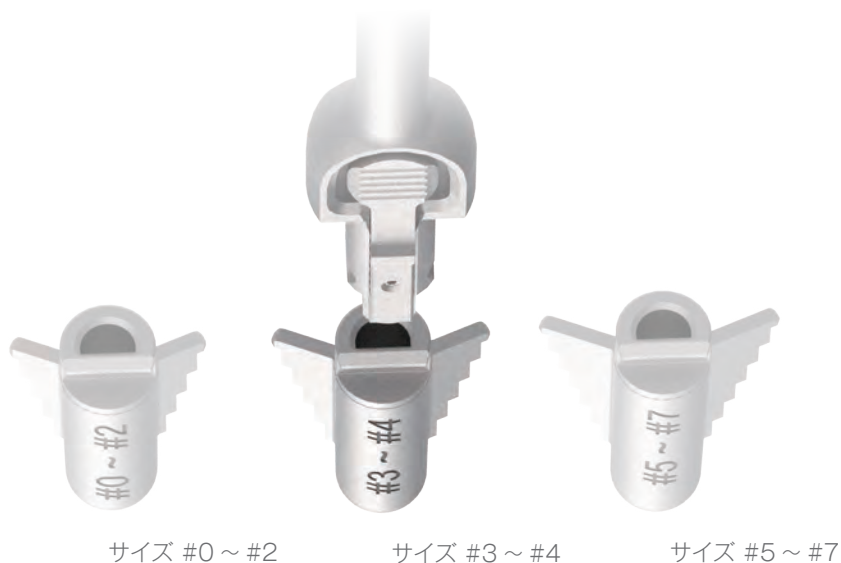
ティビアルドリル
9404-3001



ティビアルベース
プレートトライアル
カタログ番号は
サイズによって異なる

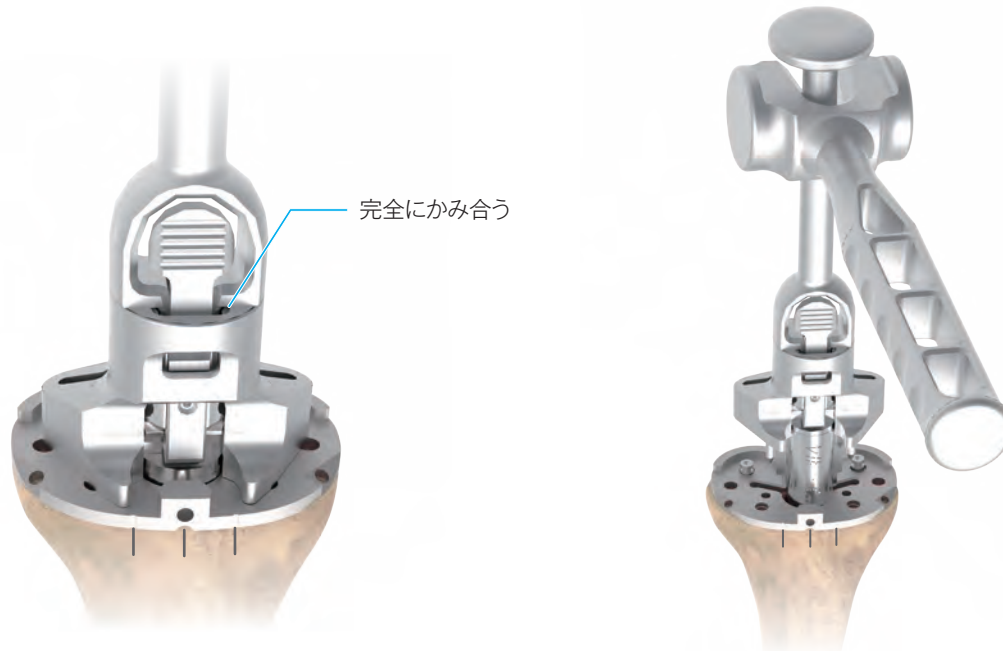
H.脛骨近位部の準備

ティビアルベースプレートトライアルに対応するサイズのティビアルパンチを選択し、それをティビアルパンチハンドルに取り付けます。



ティビアルパンチがティビアルパンチガイドに完全にかみ合うまで、ティビアルパンチを挿入します。

スロット付きハンマーでティビアルパンチアッセンブリーを取り外し、ヘッドピンを抜去します。



器具



ティビアルパンチ
#0 ~ #2: 9404-6001
#3 ~ #4: 9404-6002
#5 ~ #7: 9404-6003



ティビアルパンチハンドル
9404-1101



ティビアルパンチガイド
9404-2102



スロット付きハンマー
9304-5104



ヘッドピン
9304-3006

I. オンセットパテラの前処置

膝蓋骨のサイジングおよび骨切除

膝を完全に伸展させ、膝蓋骨を慎重に翻転します。
膝蓋骨の境界に隣接する余分な軟骨と骨棘を取り除きます。
キャリパーを使用して膝蓋骨の前後の寸法を測定します。



オンセットパテラサイジングリングを使用して骨被覆率が適切か評価します。
膝蓋骨の内側稜の中心にサイジングリングの中央の穴が来るようにします。サイジングリングの中央の穴に**3.2 mm径ドリル**で慎重に穴を開けて、インプラントを設置する中心に印を付けます。
ドリルであける穴の深度は、選択したサイズのインプラントの厚さよりわずかに深くする必要があります。



器具



キャリパー
9401-7012



オンセットパテラサイジングリング
カタログ番号はサイズに
よって異なる



3.2 mm径ドリル
9304-3100

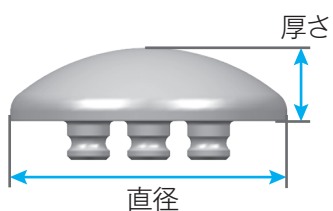
I. オンセット・パテラの準備

パテラスタイラスをオンセットパテラ骨切りガイドに取り付け、
膝蓋骨の最高点からの適切な骨切除量を確認することができます。
オンセットパテラスタイラスのクイックダイヤルを回し、インプラントの厚さに対応する適切な骨切除量を選択します。

切除ガイドを握って膝蓋骨をしっかり掴みます。



オンセットパテラコンポーネント



サイズ	XS	S	M	L	XL
厚さ	7	8	8.5	9	9.5
直径	26	29	32	35	38

※XLはオプションとなります

器具



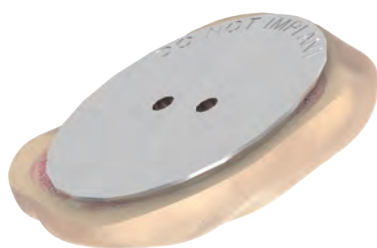
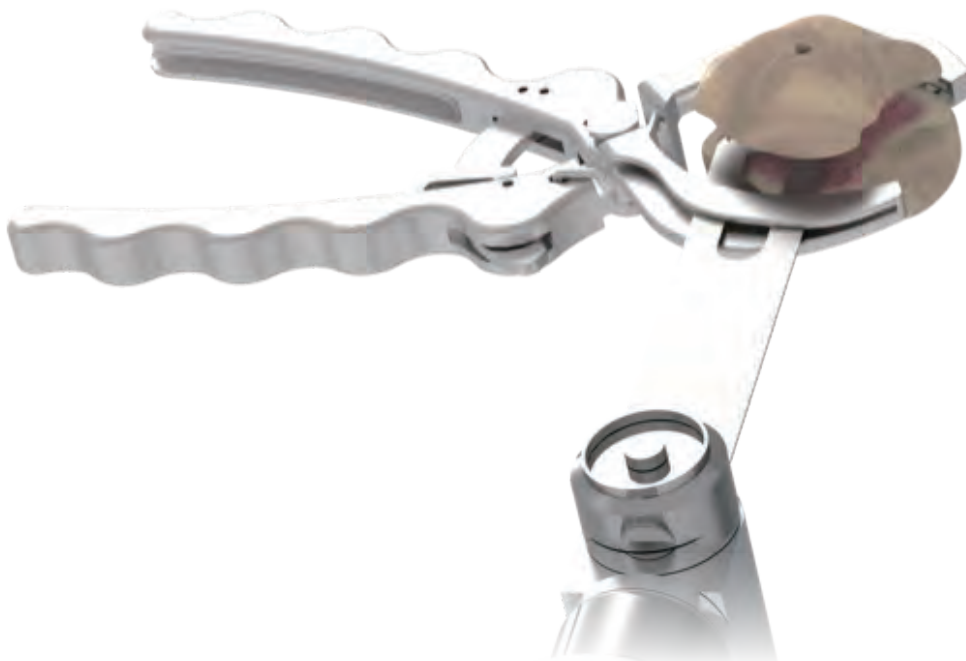
オンセットパテラ骨切りガイド
9404-2301-RA



オンセットパテラスタイラス
9404-7301

I. オンセット・パテラの準備

膝蓋骨の骨切りはスロットアタッチメントの有無を問わず行うことができます。



必要に応じて、適切なサイズの**パテラプロテクター**を設置し一時的に骨床を保護します。

器具



オンセットパテラ切除ガイド
9404-2301-RA

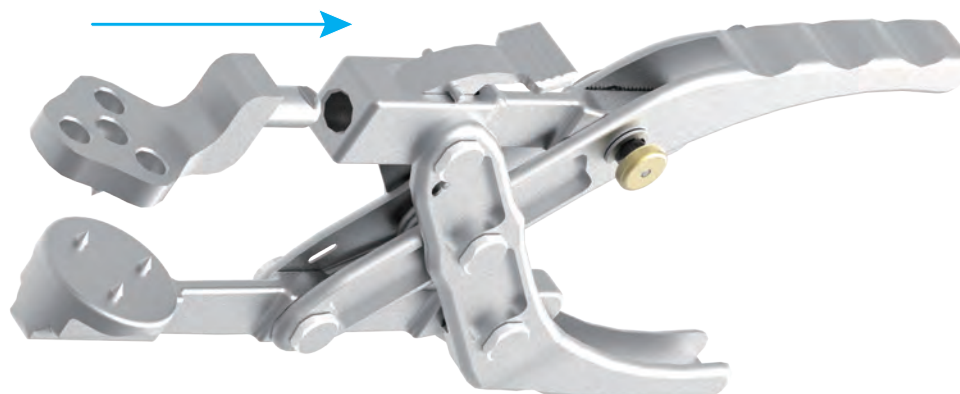


パテラプロテクター
S: 9404-5302
M: 9404-5303
L: 9404-5304

I. オンセット・パテラの準備

膝蓋骨の準備およびトライアル実施

オンセットパテラドリルガイドをパテラクランプに接続します。



ドリルガイドの中央の穴を事前に開けた穴に合わせます。



器具



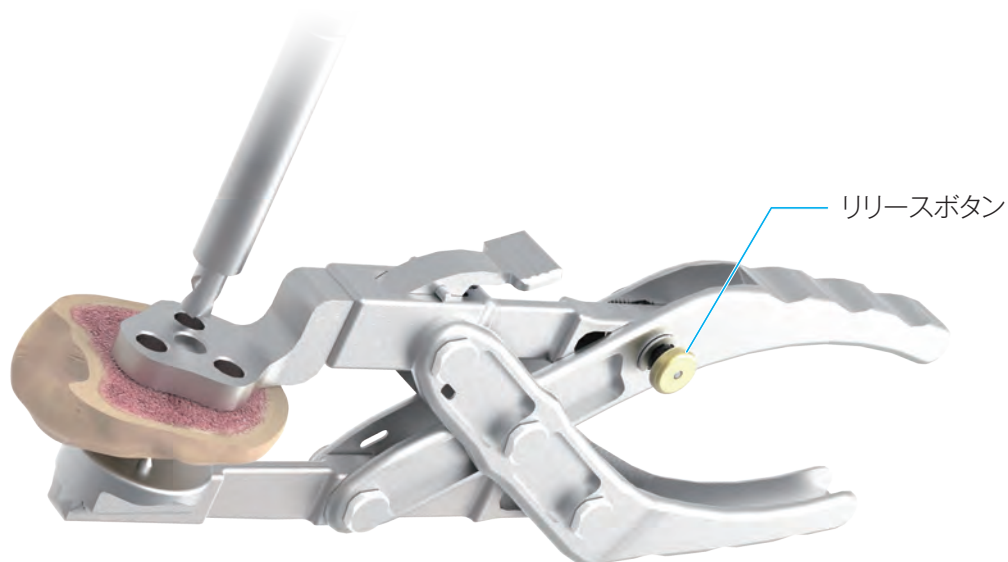
オンセットパテラドリルガイド
9404-2302



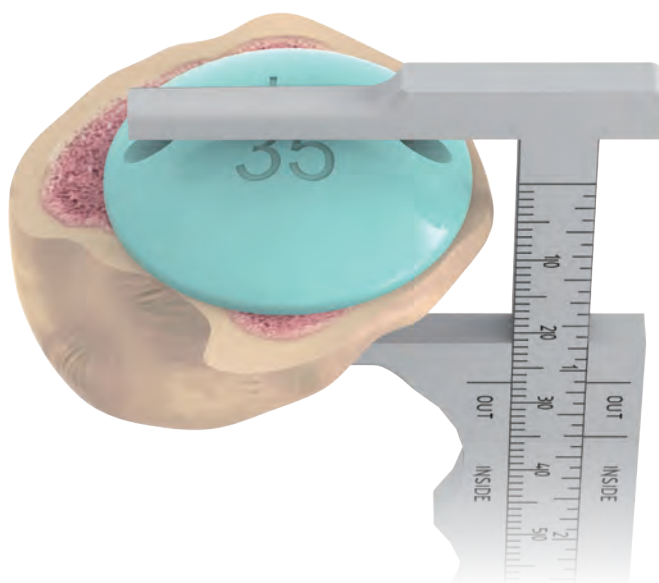
パテラクランプ
9404-5305

I. オンセット・パテラの準備

オンセットパテラペグドリルで3つのペグ穴を開けます。
リリースボタンを押してクランプを外します。



オンセットパテラトライアルをあけたペグ穴に合うように設置し、再建した膝蓋骨APの厚さを確認します。



器具



オンセットパテラ
ドリルガイド
9404-2302



パテラクランプ
9404-5305



オンセットパテラペグドリル
9404-3201



キャリパー
9401-7012

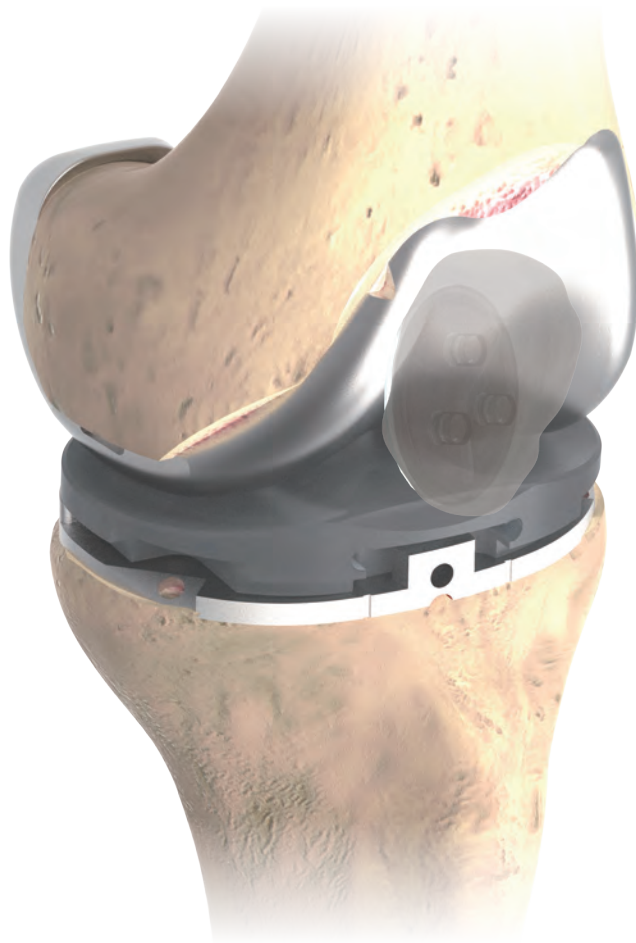


オンセットパテラ
トライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる

J.インプランテーション

最終のトライアル整復

ティビアルベーストライアル、フェモラルトライアル、ティビアルインサートトライアルおよびオンセットパテラトライアルをそれぞれ設置します。関節の緩みと可動域をテストし、筋肉と靱帯が伸展・屈曲時にどのように作用するか観察します。軟部組織の緊張を調整し、関節の安定性と可動性が理想的であることを確認します。すべてのトライアルを取り除き、骨の切断面を洗浄します。



器具



フェモラルトライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる



ティビアルベースプレートトライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる



PSまたは
CRインサートトライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる



オンセットパテラ
トライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる

J.インプランテーション

インプラント固定

大腿骨コンポーネントおよび大腿骨遠位に通常の方法で骨セメントを混合して塗布します。
準備された大腿骨遠位部に対し、**大腿骨ドライバー**で大腿骨コンポーネントを挿入します。最終的な打ち込みは**大腿骨インパクト**で打ち込み、大腿骨コンポーネントを適切な位置にしっかりとめ込みます。
キュレットを使用して、押し出されたセメントをすべて除去します。



注意：

大腿骨ドライバーはインプラントおよびトライアルを配置するためにデザインされており、最終インパクションのためにはデザインされていません。器具の破損を避けるため、**丁寧に打ち込んでください。**

器具



大腿骨ドライバー
9304-5101



大腿骨インパクト
9304-5102



モジュラー式ハンドル
9304-1103

J.インプランテーション

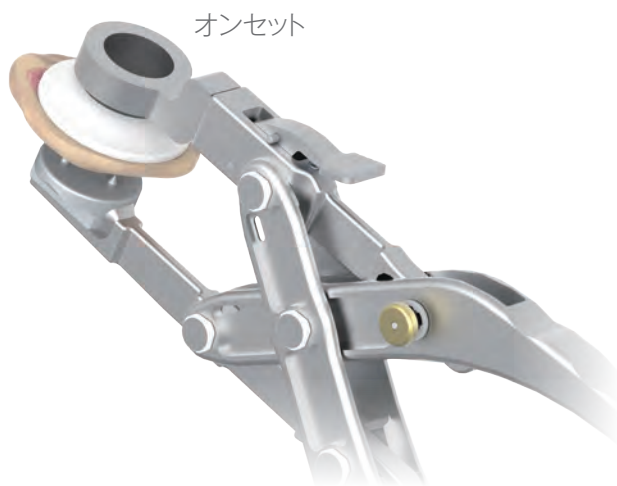
ティビアルベースプレートおよび脛骨近位部に通常の方法で骨セメントを混合して塗布します。

ティビアルベースプレートインパクターを使用して、準備された脛骨にティビアルベースプレートを打ち込みます。
キュレットを使用して、押し出されたセメントをすべて除去します。



骨セメントを混合して膝蓋骨インプラントと膝蓋骨床に塗布します。

パテラセメントクランプアダプターを**パテラクランプ**に組み付け、膝蓋骨インプラントをしっかりと固定します。
キュレットを使用して、押し出されたセメントをすべて除去します。
セメントが硬化するまでクランプを所定の位置に残します。



器具



ティビアルベースプレート
インパクター
9404-5101



モジュラー式ハンドル
9304-1103



パテラセメント
クランプアダプター
9404-5306

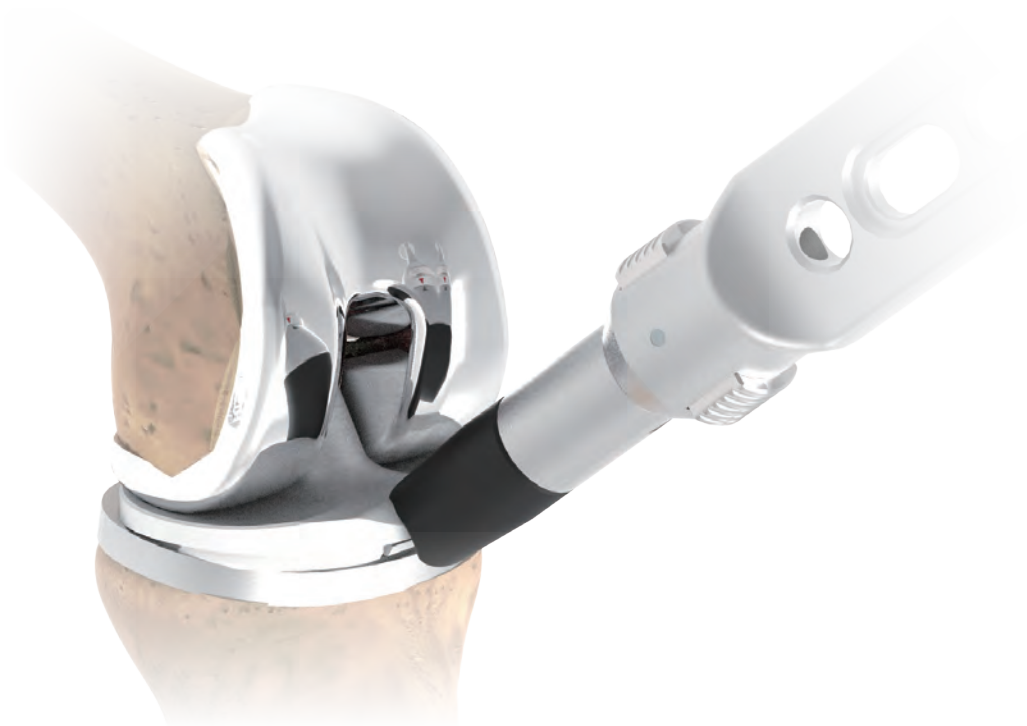


パテラクランプ
9404-5305

J.インプランテーション

最終的なティビアルインサートを挿入する前に、適切なインサートトライアルをベースプレートの上に置き、適切なインサートの厚さと関節の安定性を確認します。

最初に脛骨インサートを徒手的にティビアルベースプレートに入れることをお勧めします。ロック機構がかみ合ったことを確認したら、**ユニバーサルインパクター**を使用してインサートを完全に打ち込みます。最終的にすべてのインプラントが完全にはまっているか目視で確認します。



器具



ユニバーサル
インパクター
9304-5103



モジュラー式ハンドル
9304-1103



PSまたは
CRインサートトライアル
カタログ番号はサイズによって異なる。

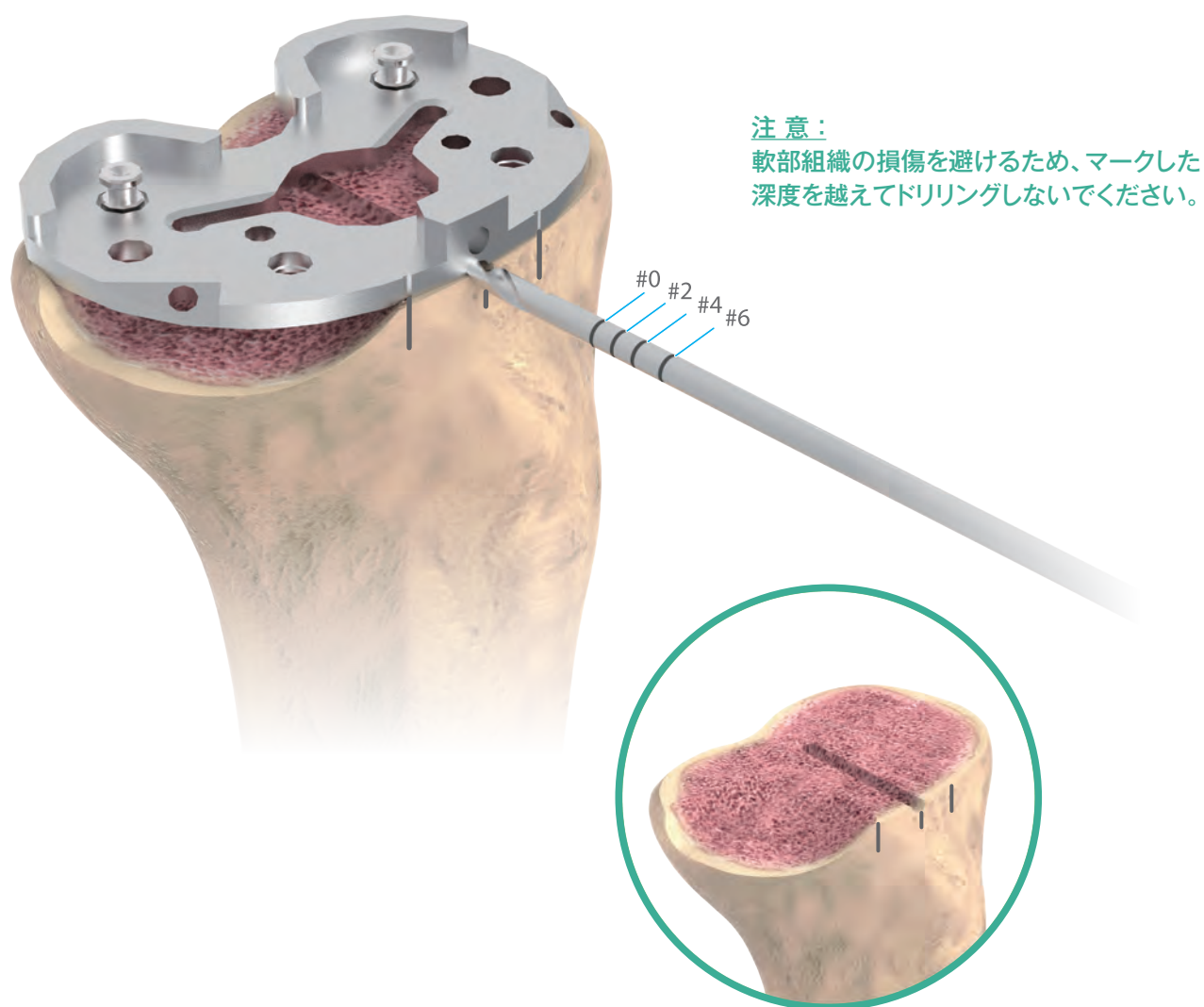
付録

CMAベースプレート用のオーギュメントおよびエクステンションシステムの準備 (オプションのCMAオーギュメントおよびエクステンションシステムトレイ使用)

U2 Kneeには、中等度の脛骨欠損に対処するためのオプションのCMA器具トレイが組み込まれています。

切除した脛骨表面に**ティビアルベースプレートトライアル**を乗せ、回旋方向を合わせ、2本の**ヘッドピン**でベースプレートトライアルを脛骨近位に固定します。

CMA 3.2 mm径ドリルを使用して、ベースプレートトライアルの下の中央トンネルから慎重に穴を開けます。ベースプレートトライアルの適切なサイズに従って、マークした深度に到達したらドリリングを停止します。近位脛骨面の中央の溝は、垂直方向の切除基準として作られています。



器具



ティビアルベースプレートトライアル
カタログ番号はサイズによって異なる



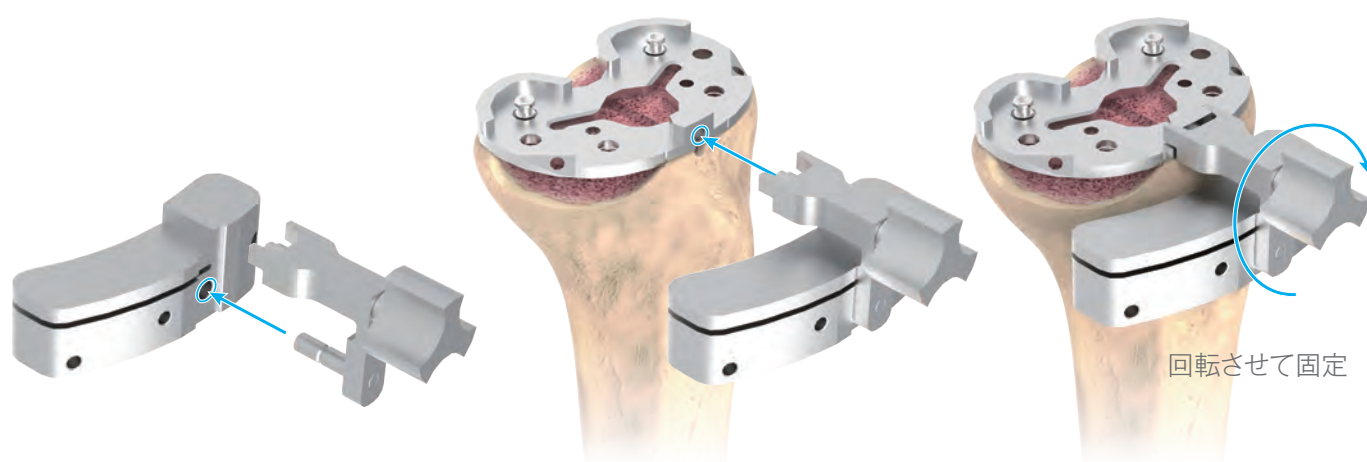
ヘッドピン
9304-3006



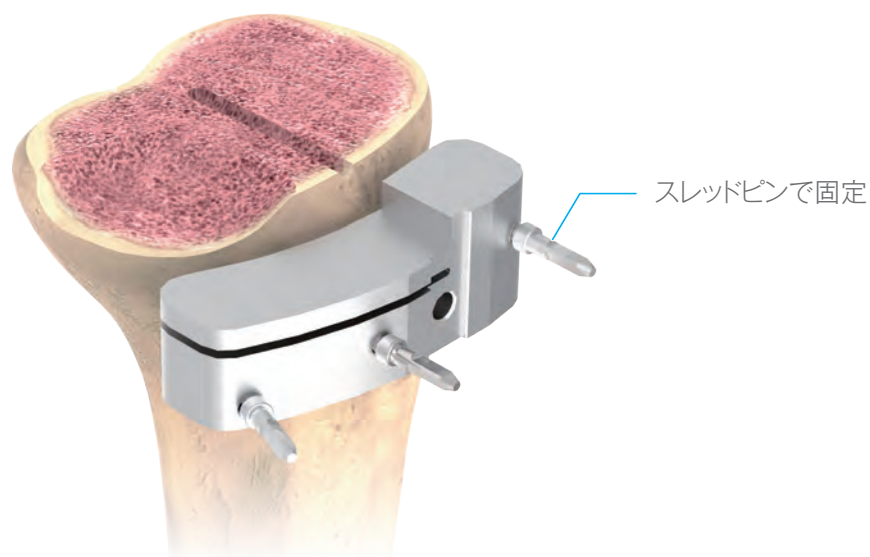
CMA 3.2 mm径ドリル
9403-3002 (CMAトレイ)

付録

適切なティビアルオーギュメント用骨切りガイド(左または右)とティビアルオーギュメント用骨切りガイドアダプターをティビアルベースプレートトライアルに取り付けます。



スレッドピンを用いて、オーギュメント用骨切りガイドを脛骨に固定します。
次に、オーギュメント用骨切りガイドアダプターとベースプレートトライアルを取り外します。



器具



ティビアルベースプレートトライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



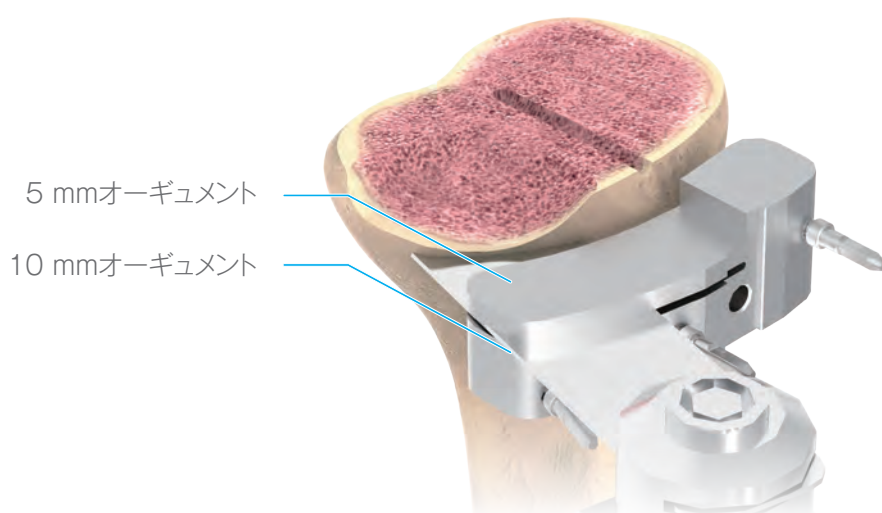
ティビアルオーギュメント用
骨切りガイド
左: 9403-2119-RE
右: 9403-2219-RE
(CMAトレイ)



ティビアルオーギュメント用骨切り
ガイドアダプター
9403-5111
(CMAトレイ)

付録

5 mmオーギュメント用のガイド上部の平面または10mmオーギュメント用のスロットを基準にして水平面の骨切りを行います。オステオームまたはレシプロソーで脛骨近位面の上部にある中央の溝を基準にして垂直の骨切りを行います。



適切なティビアルオーギュメントトライアルをティビアルベースプレートトライアルの裏側に装着し、2本のヘッドピンで切除した脛骨表面に組み合わされたトライアルを固定します。次に、**CMAティビアルドリルガイド**をベースプレートトライアルに取り付けます。



器具



ティビアルベースプレート
トライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる



スレッドピン
30mm/50mm長
9304-3003/9304-3004



ティビアルオーギュメント用
骨切りガイド
左: 9403-2119-RE
右: 9403-2219-RE
(CMAトレイ)



ティビアルオーギュメント用
トライアル
カタログ番号はサイズに
よって異なる
(CMAトレイ)



ヘッドピン
9304-3006



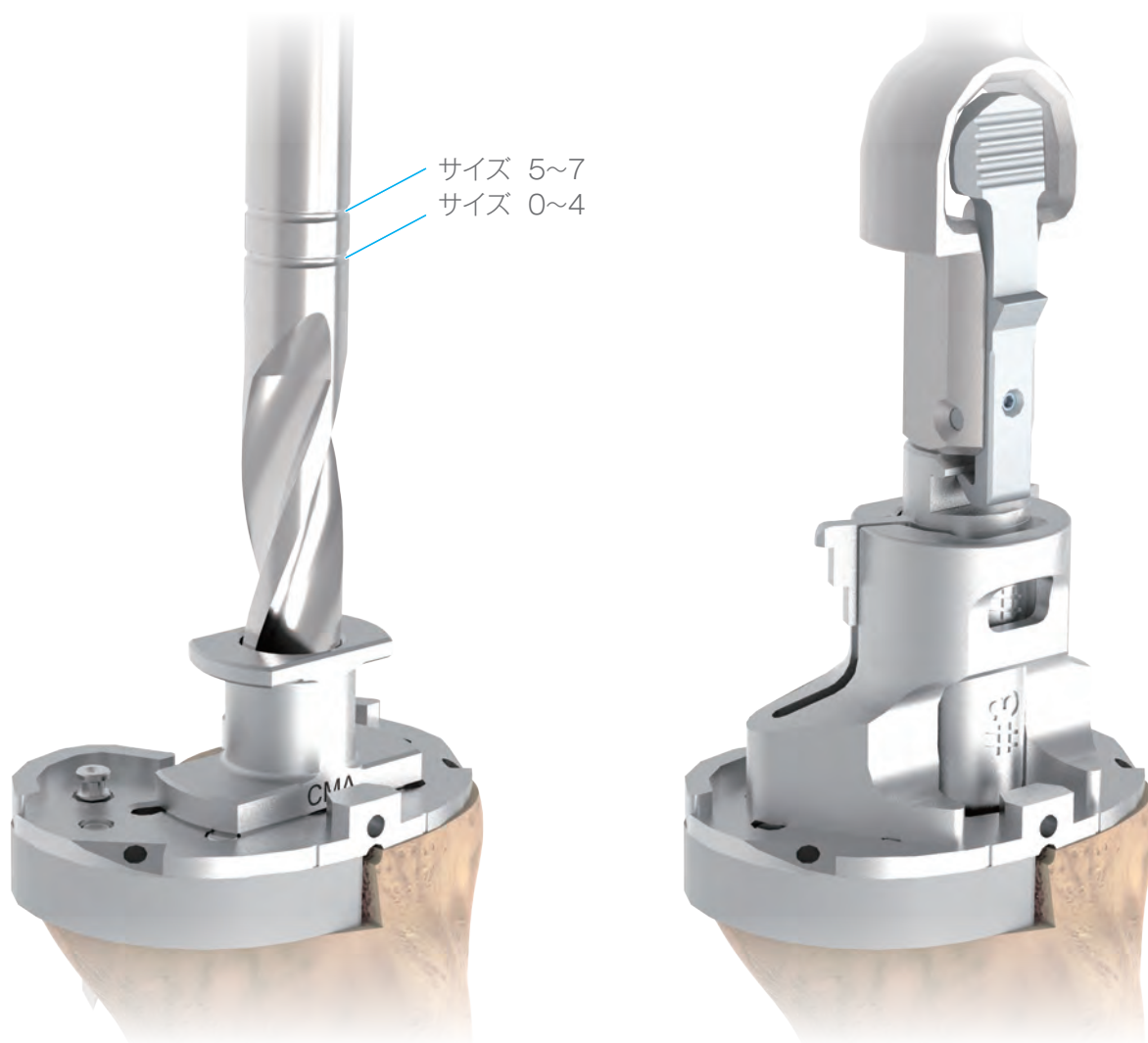
CMAティビアルドリルガイド
9403-2105-RB
(CMAトレイ)

付録

脛骨コンポーネントの安定性を確保するため、30 mm遠位延長ステムをお勧めします。
選択したサイズのベースプレートトライアルに従って、深度が「0-4」または「5-7」ラインのレーザーマークに達するまで、**CMAティビアルドリルガイド**を挿入し、**ストレートステムドリル**でドリルします。

その後、ドリルとドリルガイドを取り外します。

続けて、**ティビアルパンチ**を行い、フィンスロットの準備を完了します。(34ページ参照)



器具



ストレートステムドリル
9403-3214-RA
(CMAトレイ)



CMAティビアルドリルガイド
9403-2105-RB
(CMAトレイ)



ティビアルパンチ
#0 ~ #2: 9404-6001
#3 ~ #4: 9404-6002
#5 ~ #7: 9404-6003



ティビアルパンチハンドル
9404-1101



ティビアルパンチガイド
9404-2102

付録

スクレūdドライバーアダプターをドライバーハンドルに組み立ててから、決定したオーギュメントパーツをベースプレートに固定します。

スクレūdドライバーでベースプレートの底部にあるプラグを緩めます。ステムインパクトでステムをベースプレートにしっかり打ち付け、ステムがしっかりと固定されていることを確認します。

インプラントの固定を続けます。



器具



スクレūdドライバー
アダプター
9403-5331-RA



ドライバーハンドル
9304-1302-RA



スクレūdドライバー
9401-5307



ステムインパクト
9403-5340



スロット付きハンマー
9304-5104

オーダリングインフォメーション

U2 大腿骨コンポーネント

※オプションとなります。



Cemented CR

	Left	Right
※#1	2103-1310	2103-1410
※#1.5	2103-1315	2103-1415
#2	2103-1320	2103-1420
#2.5	2103-1325	2103-1425
#3	2103-1330	2103-1430
#3.5	2103-1335	2103-1435
#4	2103-1340	2103-1440
#4.5	2103-1345	2103-1445
#5	2103-1350	2103-1450
※#5.5	2103-1355	2103-1455
※#6	2103-1360	2103-1460
※#6.5	2103-1365	2103-1465
※#7	2103-1370	2103-1470



PS

	Left	Right
※#1	2103-3110	2103-3210
※#1.5	2103-3115	2103-3215
#2	2103-3120	2103-3220
#2.5	2103-3125	2103-3225
#3	2103-3130	2103-3230
#3.5	2103-3135	2103-3235
#4	2103-3140	2103-3240
#4.5	2103-3145	2103-3245
#5	2103-3150	2103-3250
※#5.5	2103-3155	2103-3255
※#6	2103-3160	2103-3260
※#6.5	2103-3165	2103-3265
※#7	2103-3170	2103-3270

U2 脛骨コンポーネント

エクステンション

※オプションとなります。



CMA

※#1	2203-3210
#2	2203-3220
#3	2203-3230
#4	2203-3240
#5	2203-3250
※#6	2203-3260
※#7	2203-3270

Tibial Augment



	5 mm	10 mm
※#1	2803-5211	2803-5212
#2	2803-5221	2803-5222
#3	2803-5231	2803-5232
#4	2803-5241	2803-5242
#5	2803-5251	2803-5252
※#6	2803-5261	2803-5262
※#7	2803-5271	2803-5272

Extension Stem



	Straight Stem
	30 mm
Ø14	2703-5003

ティビアルインサート (CR)

※オプションとなります。



CR

	XPE				
	9 mm	11 mm	13 mm	15 mm	18 mm
※#1	2303-1611	2303-1612	2303-1613	2303-1614	2303-1615
#2	2303-1621	2303-1622	2303-1623	2303-1624	2303-1625
#3	2303-1631	2303-1632	2303-1633	2303-1634	2303-1635
#4	2303-1641	2303-1642	2303-1643	2303-1644	2303-1645
#5	2303-1651	2303-1652	2303-1653	2303-1654	2303-1655



CR

	E-XPE				
	9 mm	11 mm	13 mm	15 mm	18 mm
※#1	2303-1811	2303-1812	2303-1813	2303-1814	2303-1815
#2	2303-1821	2303-1822	2303-1823	2303-1824	2303-1825
#3	2303-1831	2303-1832	2303-1833	2303-1834	2303-1835
#4	2303-1841	2303-1842	2303-1843	2303-1844	2303-1845
#5	2303-1851	2303-1852	2303-1853	2303-1854	2303-1855
※#6	2303-1861	2303-1862	2303-1863	2303-1864	2303-1865
※#7	2303-1871	2303-1872	2303-1873	2303-1874	2303-1875

ティビアルインサート (PS)

※オプションとなります。



PS

	XPE				
	9 mm	11 mm	13 mm	15 mm	18 mm
※#1	2303-3611	2303-3612	2303-3613	2303-3614	2303-3615
#2	2303-3621	2303-3622	2303-3623	2303-3624	2303-3625
#3	2303-3631	2303-3632	2303-3633	2303-3634	2303-3635
#4	2303-3641	2303-3642	2303-3643	2303-3644	2303-3645
#5	2303-3651	2303-3652	2303-3653	2303-3654	2303-3655



PS

	E-XPE				
	9 mm	11 mm	13 mm	15 mm	18 mm
※#1	2303-3811	2303-3812	2303-3813	2303-3814	2303-3815
#2	2303-3821	2303-3822	2303-3823	2303-3824	2303-3825
#3	2303-3831	2303-3832	2303-3833	2303-3834	2303-3835
#4	2303-3841	2303-3842	2303-3843	2303-3844	2303-3845
#5	2303-3851	2303-3852	2303-3853	2303-3854	2303-3855
※#6	2303-3861	2303-3862	2303-3863	2303-3864	2303-3865
※#7	2303-3871	2303-3872	2303-3873	2303-3874	2303-3875

ティビアルインサート（XUC）

※オプションとなります。



XUC

	E-XPE				
	9 mm	11 mm	13 mm	15 mm	18 mm
※#1	2303-1711	2303-1712	2303-1713	2303-1714	2303-1715
#2	2303-1721	2303-1722	2303-1723	2303-1724	2303-1725
#3	2303-1731	2303-1732	2303-1733	2303-1734	2303-1735
#4	2303-1741	2303-1742	2303-1743	2303-1744	2303-1745
#5	2303-1751	2303-1752	2303-1753	2303-1754	2303-1755
※#6	2303-1761	2303-1762	2303-1763	2303-1764	2303-1765
※#7	2303-1771	2303-1772	2303-1773	2303-1774	2303-1775

パテラコンポーネント

※オプションとなります。



オンセットパテラ

Size	XPE
XS	2403-3210
S	2403-3220
M	2403-3230
L	2403-3240
※XL	2403-3250
※XXL	2403-3260



オンセットパテラ

Size	E-XPE
XS	2403-5210
S	2403-5220
M	2403-5230
L	2403-5240
※XL	2403-5250
※XXL	2403-5260

Each Step We Care



UNITED
ORTHOPEDIC

Each Step We Care

販売名：U2 トータルニーCRシステム
医療機器承認番号：23000BZX00144000

販売名：U2 トータルニーPSシステム
医療機器承認番号：23000BZX00143000

販売名：U2 トータルニー E-XPE PSシステム
医療機器承認番号：30200BZX00015000

販売名：U2 トータルニー E-XPE CRシステム
医療機器承認番号：30200BZX00016000

販売名：U2 Knee E-XPE UCシステム
医療機器承認番号：30200BZX00228000

販売名：U2 トータルニーシステム用手術器械
医療機器承認番号：14B1X10016200001

202108(1)R0

製造販売元

ユナイテッド・オーソペディック・ジャパン株式会社
〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-40 銀洋ビル5階
TEL 045-620-0741 FAX 045-620-0742

UOJロジスティクスセンター  0120-16-0805

UOJロジスティクスセンター FAXナンバー 045-620-3416

販売店



UNITED
ORTHOPEDIC®